

ヤマタスポーツパーク受変電設備高圧進相コンデンサ更新工事(1工区)

図面番号	図面名称	縮尺
E-00	図面リスト	S=1/NS
E-01	電気設備工事特記仕様書(1)	S=1/NS
E-02	電気設備工事特記仕様書(2)	S=1/NS
E-03	配置図、付近見取図	S=1/2000
E-04	【改修前】受変電設備 高圧配電系統図	S=1/NS
E-05	【改修後】受変電設備 高圧配電系統図	S=1/NS
E-06	野球場 受変電設備 1階電気室改修図	S=1/50, 100, 600
E-07	球技場 受変電設備 キュービクル室改修図	S=1/50, 100



TITLE	ヤマタスポーツパーク受変電設備高圧進相コンデンサ更新工事(1工区)				 山根設計 <small>二級建築士事務所 鳥取県知事登録(05)第2104号 二級建築士 池谷 美弥子 登録番号 第3166号</small>	 
DRAWING NAME	図面リスト					
DATE	2026.03	SCALE	S=1/NS	DRAWING NO	E-00	

電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 鳥取市布勢

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による基本面積(m ²)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	ヤマタスポーツパーク野球場	RC造	3F	4,900.05	(1) 項 イ	改修工事
2	ヤマタスポーツパーク 球技場トイレ(電気室)	RC造	1F	107.25	(1) 項 イ	改修工事
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工事種目 (☉印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1					屋外	備考
		1	2	3	4	5		
● 電灯設備								
● 動力設備								
● 電熱設備								
● 雷保護設備								
☉ 受変電設備		○	○					
● 電力貯蔵設備								
● 発電設備								
● 構内情報通信網設備								
● 構内交換設備								
● 情報表示設備								
● 映像・音響設備		通						
● 拡声設備								
● 誘導支援設備								
● テレビ共同受信設備								
● 監視カメラ設備								
● 駐車場管制設備								
● 防犯・入退室管理設備								
● 火災報知設備								
● 中央監視制御設備								
● 医療関係設備								
● 構内配電線路								
● 構内通信線路								
● テレビ電波障害防除設備								
● 機械設備工事								
● 建築工事								

4 設備概要 (本工程における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

☉の付いたものを適用する。

項目	特記事項
● 電灯設備	● 電気方式 ● 非常用照明器具 ● 誘導灯
● 動力設備	● 電気方式
● 雷保護設備	● 受雷部 ● 避雷導線 ● 接地極
☉ 受変電設備	● 電気方式 ● 契約電力 ☉ 設備方式 ☉ 機器類

項目	特記事項
● 電力駆動設備	● 直流電源装置 ● 交流無停電電源装置(UPS)
● 発電設備	● 自家発電装置 ● 太陽光発電装置 ● 風力発電装置
● 通信情報設備	● 構内情報通信網設備 ● 構内交換設備 ● 情報表示設備 ● 映像・音響設備 ● 拡声設備 ● 誘導支援設備 ● テレビ共同受信設備 ● 監視カメラ設備 ● 駐車場管制設備 ● 防犯・入退室管理設備 ● 自動火災報知設備 ● 自動閉鎖設備 ● 非常警報設備 ● ガス漏れ火災警報設備
● 中央制御設備	● 形式 ● 監視制御対象設備 ● 伝送方式
● 構内配電線路	● 電気方式 ● 施工方法 ● 外灯点滅方式
● 構内通信線路	● 用途 ● 施工方法
● テレ波防除設備	● 対策方策 ● 責任分界点

II. 特記仕様

1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の標準仕様書のうち☉印の付いたものによる。
 - 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準仕様書」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「改修標準仕様書」という。)
 - 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準図」という。)
- 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。
- 機械設備工事及び建築工事を本工程に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

- 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は☉の付いたものを適用する。
 - ☉の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。☉と※の付いた場合は共に適用する。
- 一般共通事項のうち(1, 2, 4, 8, 9, 11, 12, 13, 14, 15, 35) 項は、● 建築 ● 機械設備 工事特記仕様書による。

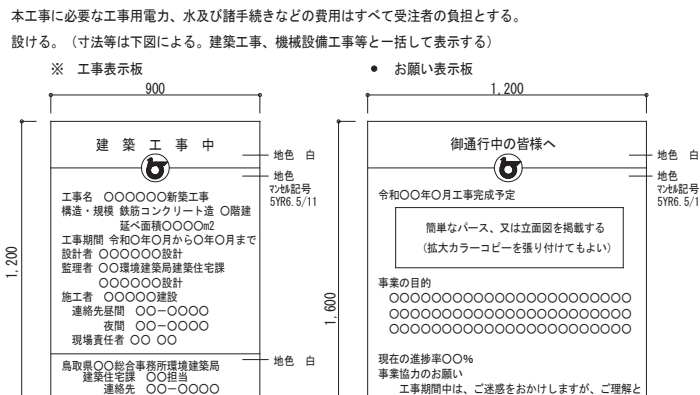
項目	特記事項
① 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続は、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
② 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。 なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建設工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。 引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ☉本工程において調査を行う (● PCB使用機器 ● アスベスト含有設備資機材 (● 配線用遮断機 ●)) PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ☉有り
③ 電気工事士	
4 工事安全計画書等	
⑤ 発生の分析及び処理	

⑥ 機材等	本工程に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ. 機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図面に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。 なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
⑦ 機材の品質・性能証明	使用する機材がⅢ. 機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを提出する。
⑧ 施工図等	
⑨ 完成写真等	
⑩ 完成図等	
11 他工事との取合い	次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。
⑪ 工事用電力・水・その他	
⑫ 表示板	本工程に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。 設ける。(寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等一括して表示する) ※ 工事表示板 ● お願ひ表示板
14 足場	

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出
工事写真	カラーサービスタ	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	☉要 ● 不要
完成写真	カラーサービスタ	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	☉要 ● 不要

区分	名称	部数
※ 完成図原因	完成図 ● 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ	1部
※ 完成図 2つ折製本	※ 完成図 ※ 完成図(縮小版)	※ 2部 ● 部
※ 完成図書	☉ 完成図(縮小版) ※ A4版市販ファイル ● A4版黒表紙製本 ☉ 主要機器図 ☉ 試験成績書	※ 2部 ● 部
※ 保守用説明書 A4版ファイル	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部
※ 保証書		1部
※ 官公署届出書類		1部

他工事との取合い		電気設備	機械設備	建築
● コンクリート壁、床、梁貫通部	補強	●	●	※
● 鉄骨造の開口及び補強	スリーブ・箱入	※	●	●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)		※	●	●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		※	●	●
● 埋込分電盤・端子盤・フルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	※	●	●
● OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強	補強	●	●	※
● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切り込み	※	●	●
● 自動閉閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ	補強	●	●	※
● 電気室、自家発電機室などの基礎及びビット(蓋を含む)		●	●	※
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	※	●
● 機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線		●	※	●
● テレビアンテナ	基礎	●	●	※
● 天井点検口	アンカーボルト	※	●	●
● 自立型制御盤の基礎		※	●	●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	※	●	●
	屋上設置	●	●	※

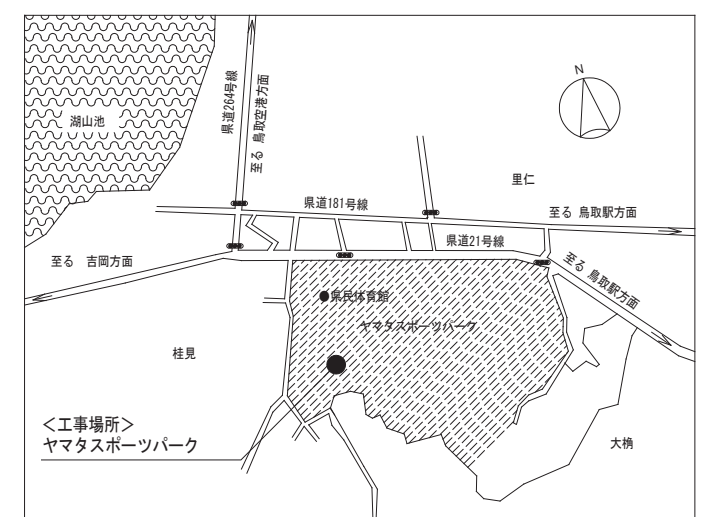
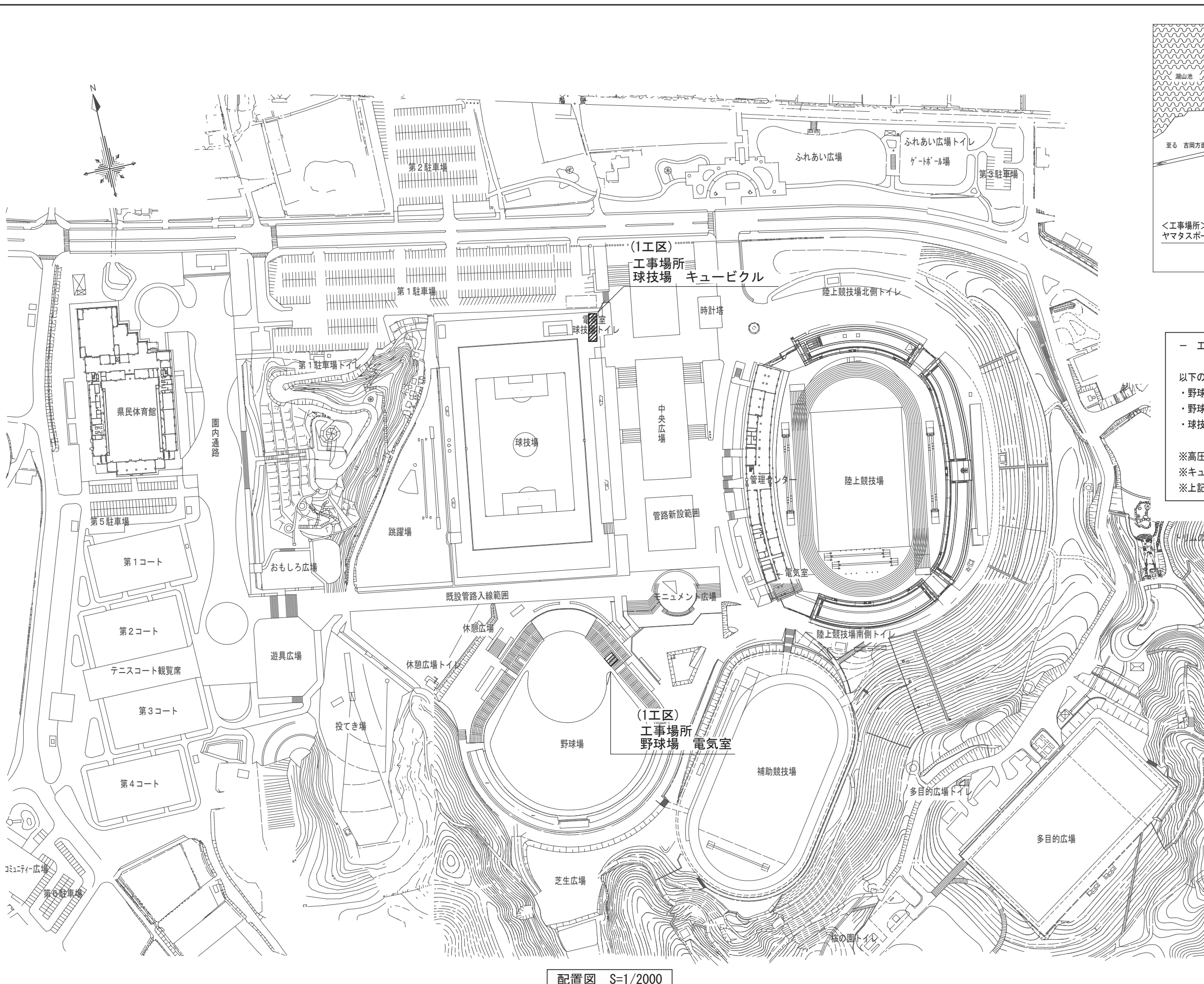


記入要領

- 書体は角ゴシックとする。
- お願ひ表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする。

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

一般共通事項	15 工事用仮設物	構内につくることが ※ できる ● できない	30 補修など	工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。	10 拡張設備	1 増幅器	形式 (● 卓上形 ● ラック形) 定格出力 (W) 性能 (● H i 形 ● L o 形)
	16 土工	埋戻し土 ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類 () ● 真砂土 ()	31 はつり	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	11 誘導支援	1 音声誘導装置	検出方式 (● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式)
	17 電線類	建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積 本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。 EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。 壁内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。 ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側に配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 屋外露出配管 (厚鋼電線管) で塗装を行わない場合は、溶融垂れめつき仕上げ [めつき付質量 300g/m ² 以上] とする。	32 はつり工事における非破壊検査	探査方法 ※ 磁気誘導式 ● 放射線透過検査 ●	12 火災報知設備	1 自動火災報知設備	受信機 (● 型 級 回線 (番機型) ● 複合形 ● 単独形)
	18 電線本数・管路等	EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。 壁内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。 ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側に配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 屋外露出配管 (厚鋼電線管) で塗装を行わない場合は、溶融垂れめつき仕上げ [めつき付質量 300g/m ² 以上] とする。	33 あと施工アンカー	1) 施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う 試験方法 引張試験機による引張試験 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上 試験箇所数 1 施工単位に対し1本以上 対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置	13 構内配電線路	2 自動閉鎖設備	● 防火戸用 (※ ラッチ式 ● 電磁式) ● 防煙ダンパー用 (※ 電動復帰 ● 手動復帰) ● 防火シャッター用 (※ 別途工事 ● 本工事)
	19 屋外露出配管の仕上げ	屋外露出配管 (厚鋼電線管) で塗装を行わない場合は、溶融垂れめつき仕上げ [めつき付質量 300g/m ² 以上] とする。	34 室内空气中の化学物質の濃度測定	実施する。 工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 (保険の加入期限は、工事完成引渡しまで [概ね工期+21日] とする。)	14 構内通信線路	3 ガス漏れ火災警報設備	検知器 (● 天井取付形 ● 壁取付形)
	20 露出配管の塗装 (付属品含む)	塗装する部分 ● 屋上 ● 屋側 ● 屋外 ● 廊下 ● 機械室 ● 居室 () ●	35 鳥取県公共事業環境配慮指針	※ 対象工事	15 テレビ・テレビ電話受信障害調査	1 施工方法	埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上 (● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ●)
	21 波付硬質合成樹脂管 (FEP)	波付硬質合成樹脂管 (F E P) を使用する場合は不燃又は難燃性とする。	36 鳥取県公共事業環境配慮指針	※ 対象工事	16 その他	2 地中箱	蓋の記号表示は鋳型流込み (鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入) とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。
	22 フラッシュプレートの材質	● 金属製 (ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製	37 建築物省エネ法	※ 対象工事		3 高圧負荷開閉器	● 閉鎖形 (● 軽閉鎖形 ● 重閉鎖形) ● 地絡継電器付 (※ 方向性 ● 無方向性) ● 避雷器内蔵 ※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。 高圧ケーブルの両端部にシースの縮み対策 (熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等) を行う。
	23 カバープレートの表示	シール等を貼付し、用途を表示する。				4 高圧ケーブルの端末部	● 一般形 ● 耐塩形 ※ 高圧 ● 低圧
	24 ブルボックスの塗装	ステンレス製ブルボックスの塗装 ※ 無 (素地仕上) ● 有 (指定色仕上)				5 高圧ケーブルの屋外末端処理	● 一般形 ● 耐塩形 ※ 高圧 ● 低圧
	25 耐震施工	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。 1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器重量 [kN] に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度				6 標識シート	照明用ポール 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上 (● ●)
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。				7 照明用ポール	埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上 (● ●)
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)				8 機器用ケーブル	蓋の記号表示は鋳型流込み (鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入) とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 ● データ回線 ● 電話 ● CATV ●
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。				9 報告書提出部数	1 調査仕様 図面に記載されていない事項は、すべて (一社) 日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領 (地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。 ※ 事前 ● 中間 ※ 事後 中継局 波: 地点 中継局 波: 地点 ※ 事前 3部 ● 中間 部 ● 事後 3部
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					
		重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)					
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。					



付近見取図

— 工事概要 —

以下のキュービクル内部機器(高圧新相コンデンサ)更新を行う。

- ・野球場変圧器盤 ~2台(油入)
- ・野球場受変電盤 ~1台(油入)
- ・球技場変電設備 ~2台(油入) → ~1台(乾式)

※高圧進相コンデンサの更新に伴い、直列リアクトル(L=6%)を追加設置
 ※キュービクル扉面にコンデンサ、リアクトル状態表示を新設
 ※上記に伴うLBSの撤去

作業条件

1. 停電作業は指定日中に作業完了とすることとし、不測の事態においても必ず復電すること。(後日作業を行うものとする)

配置図 S=1/2000

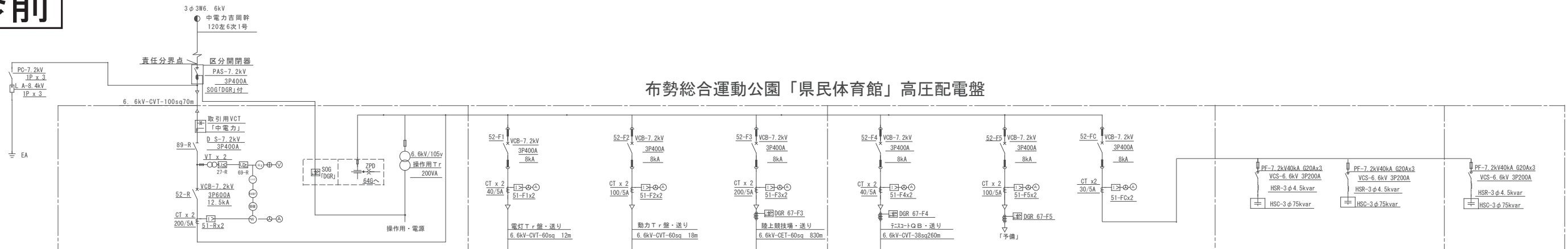
TITLE	ヤマタスポーツパーク受変電設備高圧進相コンデンサ更新工事(1工区)				
DRAWING NAME	配置図、付近見取図				
DATE	2026.03	SCALE	S=1/2000	DRAWING NO	E-03

山根設計
 YAMANE
 二級建築士事務所 鳥取県知事登録(05)第2104号
 二級建築士 池谷 美弥子 登録番号 第3166号

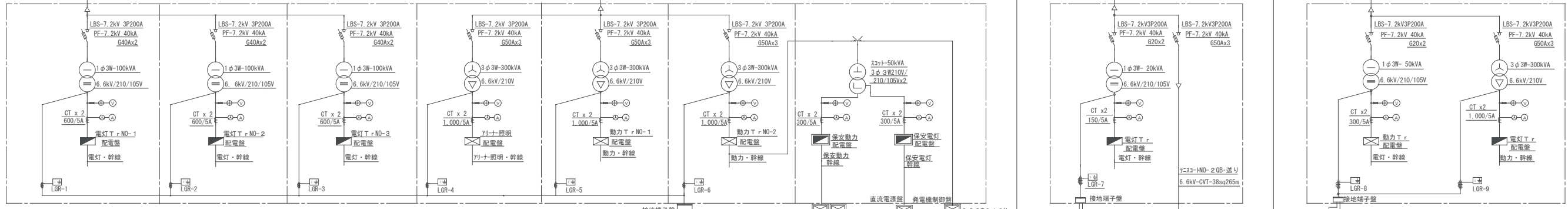


改修前

布勢総合運動公園「県民体育館」高压配電盤

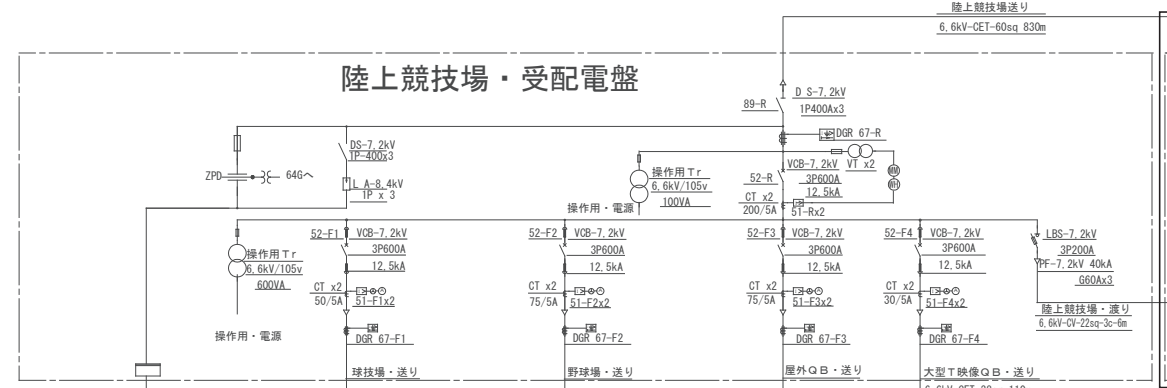


布勢総合運動公園「県民体育館」変圧器盤

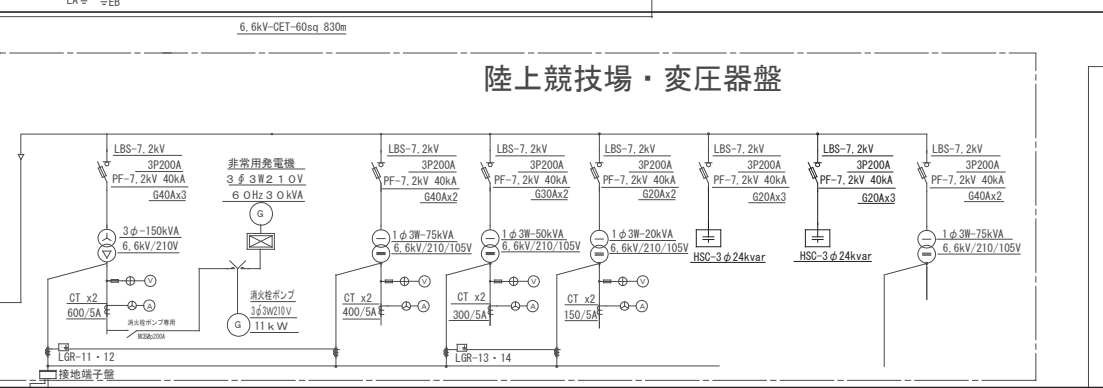


2工区

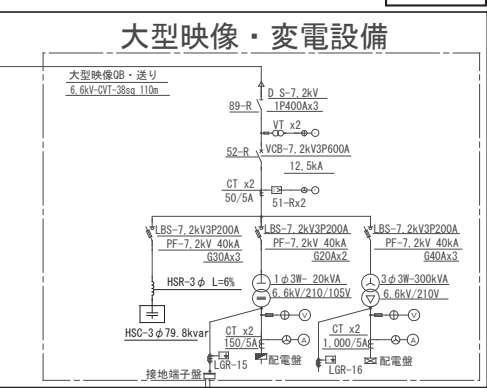
陸上競技場・受配電盤



陸上競技場・変圧器盤

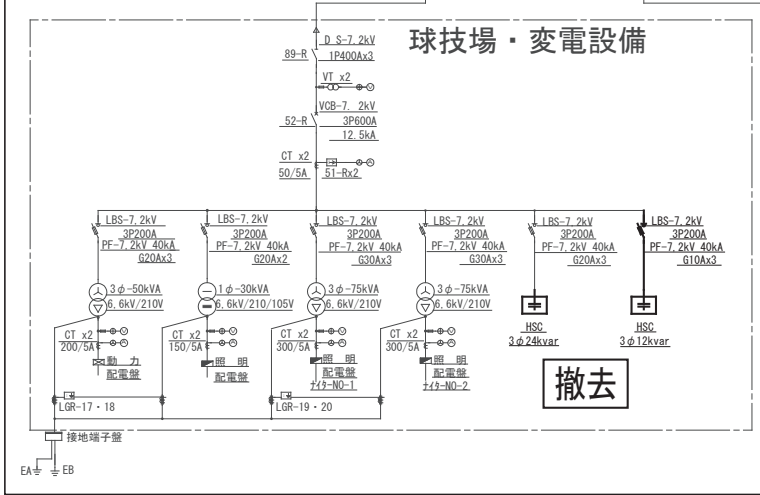


大型映像・変電設備

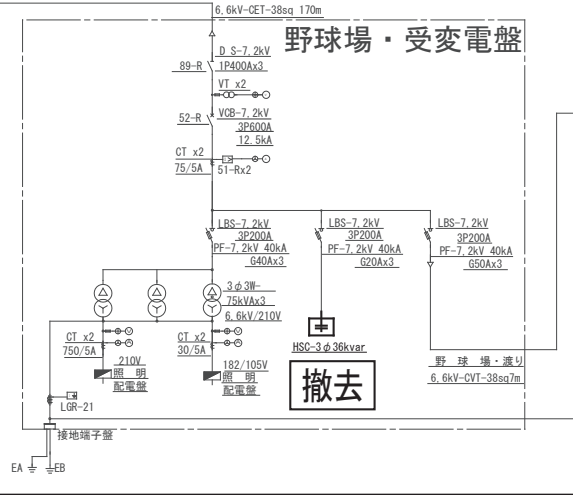


1工区

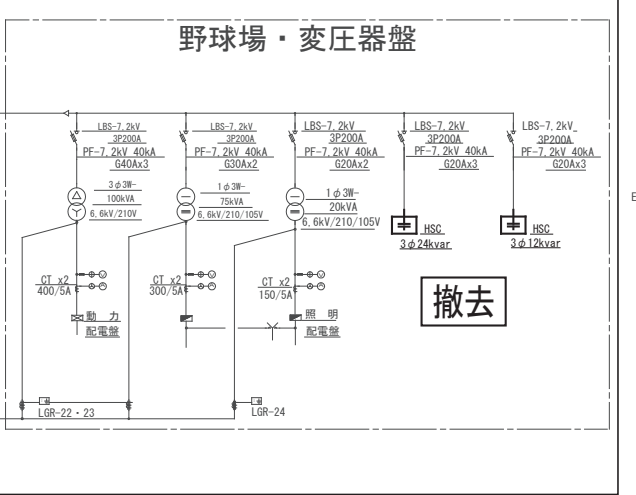
球技場・変電設備



野球場・受変電盤

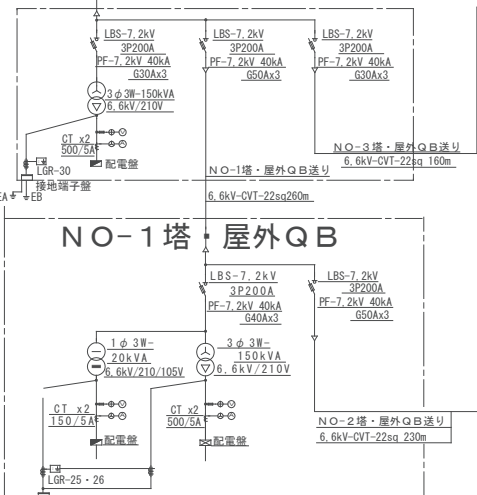


野球場・変圧器盤

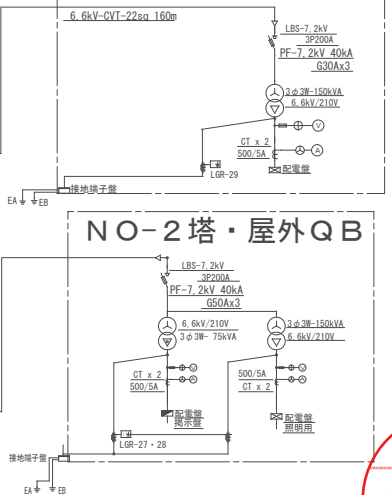


撤去

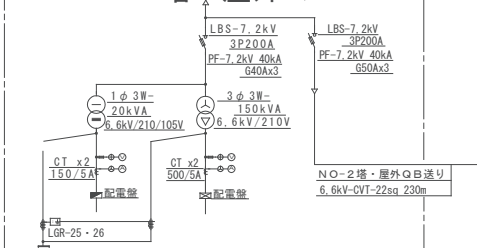
NO-1塔・屋外QB



NO-3塔・屋外QB



NO-2塔・屋外QB



ヤマタスポーツパーク 高压配電系統図

※太線部分を撤去とする。

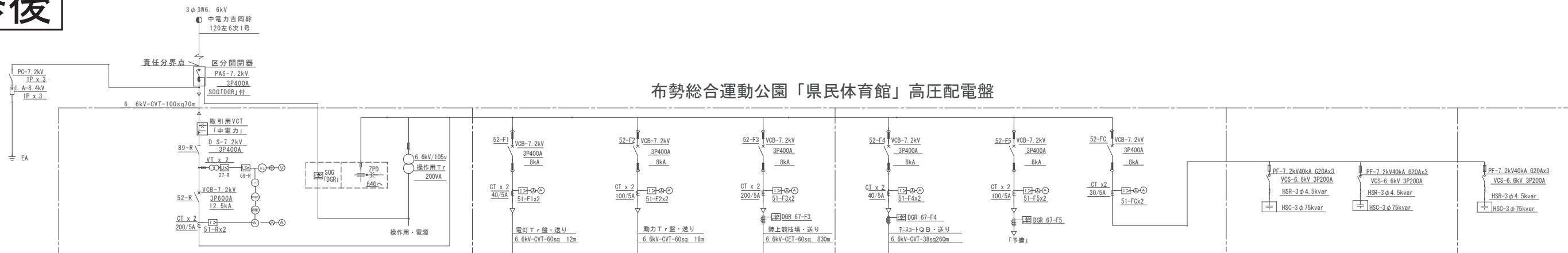
TITLE	ヤマタスポーツパーク受変電設備高圧進相コンデンサ更新工事(1工区)
DRAWING NAME	【改修前】受変電設備 高压配電系統図
DATE	2026.03
SCALE	S=1/NS
DRAWING NO	E-04

山根設計
 山根設計事務所 鳥取県知事登録(30)第2104号
 二級建築士 池谷 美弥子 登録番号 第3166号

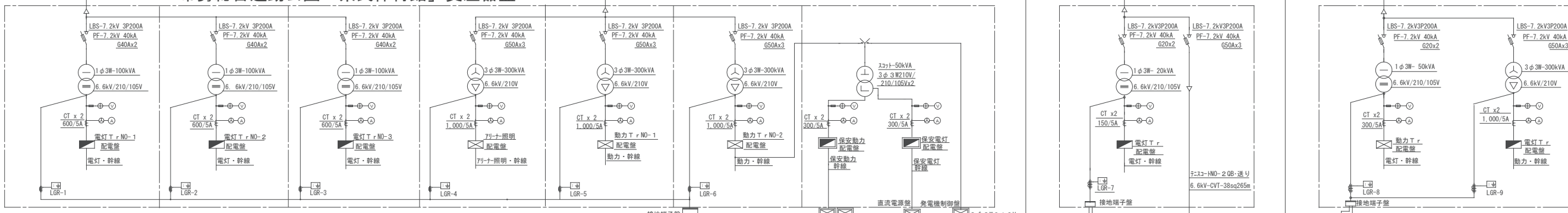
鳥取県
 令和7年度
 J2501728
 東部建築住宅
 事務所

改修後

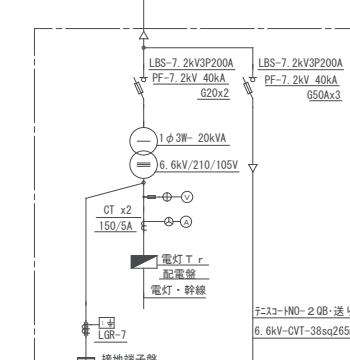
布勢総合運動公園「県民体育館」 高压配電盤



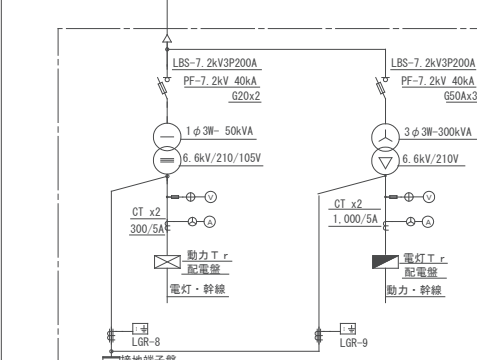
布勢総合運動公園「県民体育館」 変圧器盤



テニスコートNO-1・QB

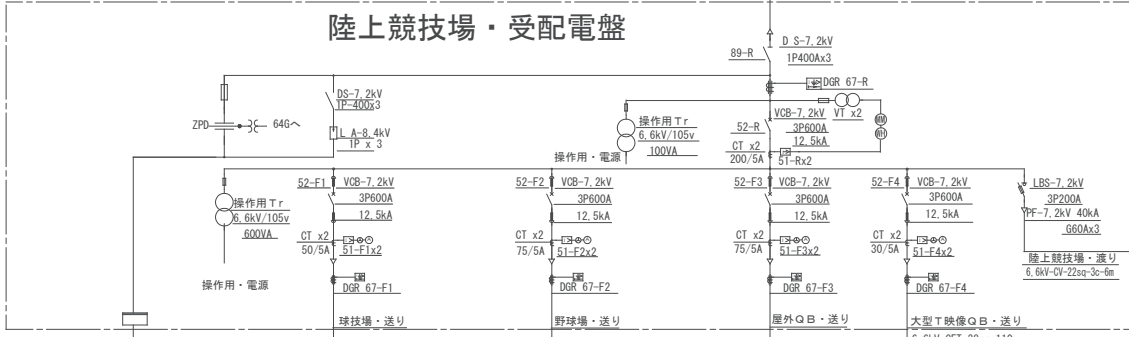


テニスコートNO-2・QB

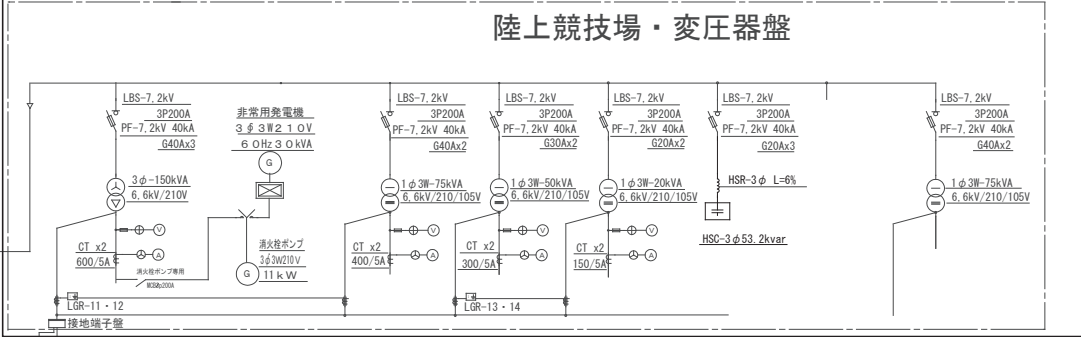


2工区

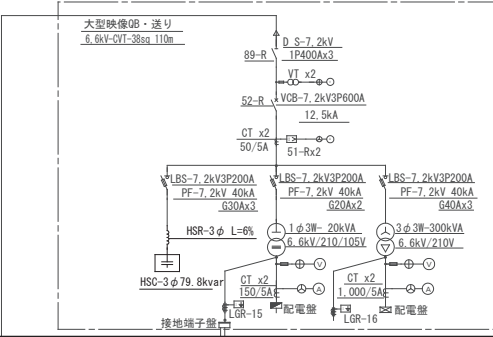
陸上競技場・受配電盤



陸上競技場・変圧器盤

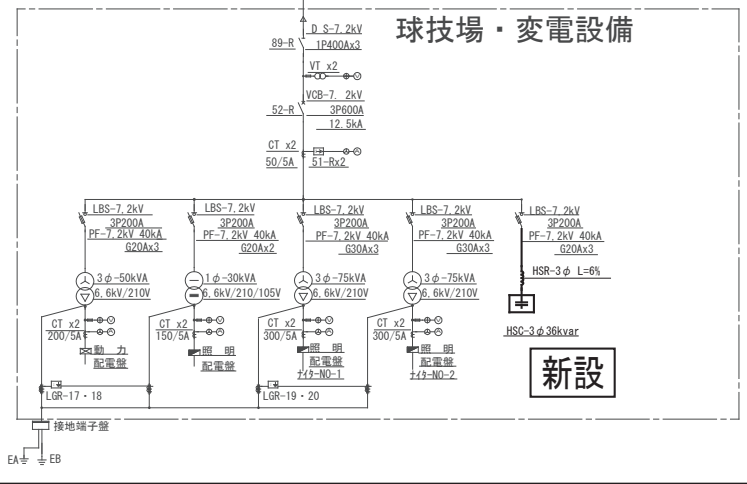


大型映像・変電設備

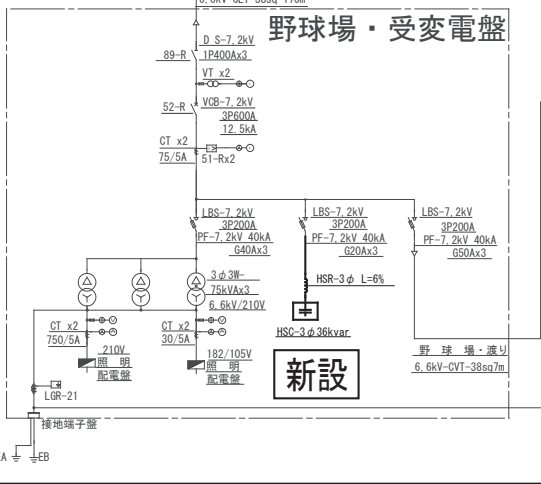


1工区

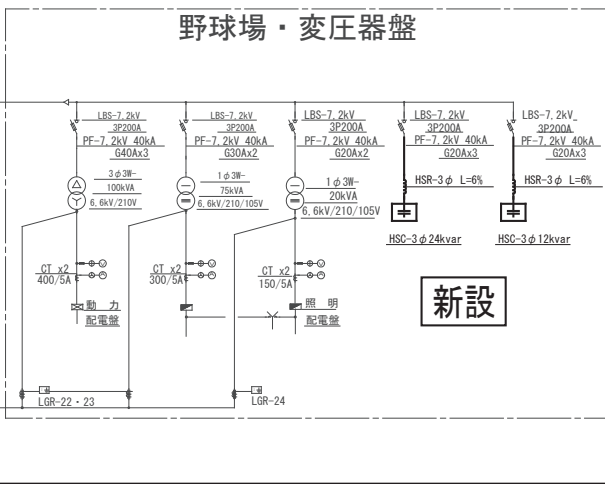
球技場・変電設備



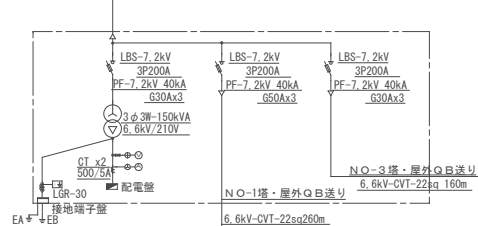
野球場・受変電盤



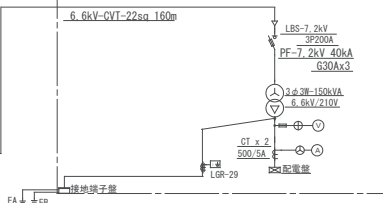
野球場・変圧器盤



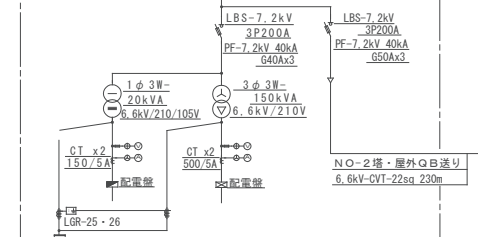
NO-4塔・屋外QB



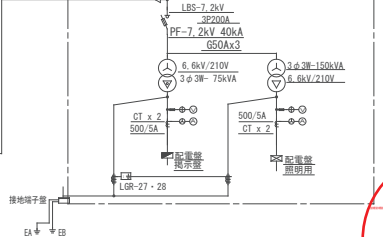
NO-3塔・屋外QB



NO-1塔・屋外QB



NO-2塔・屋外QB



ヤマタスポーツパーク 高压配電系統図

※太線部分を新設とする。

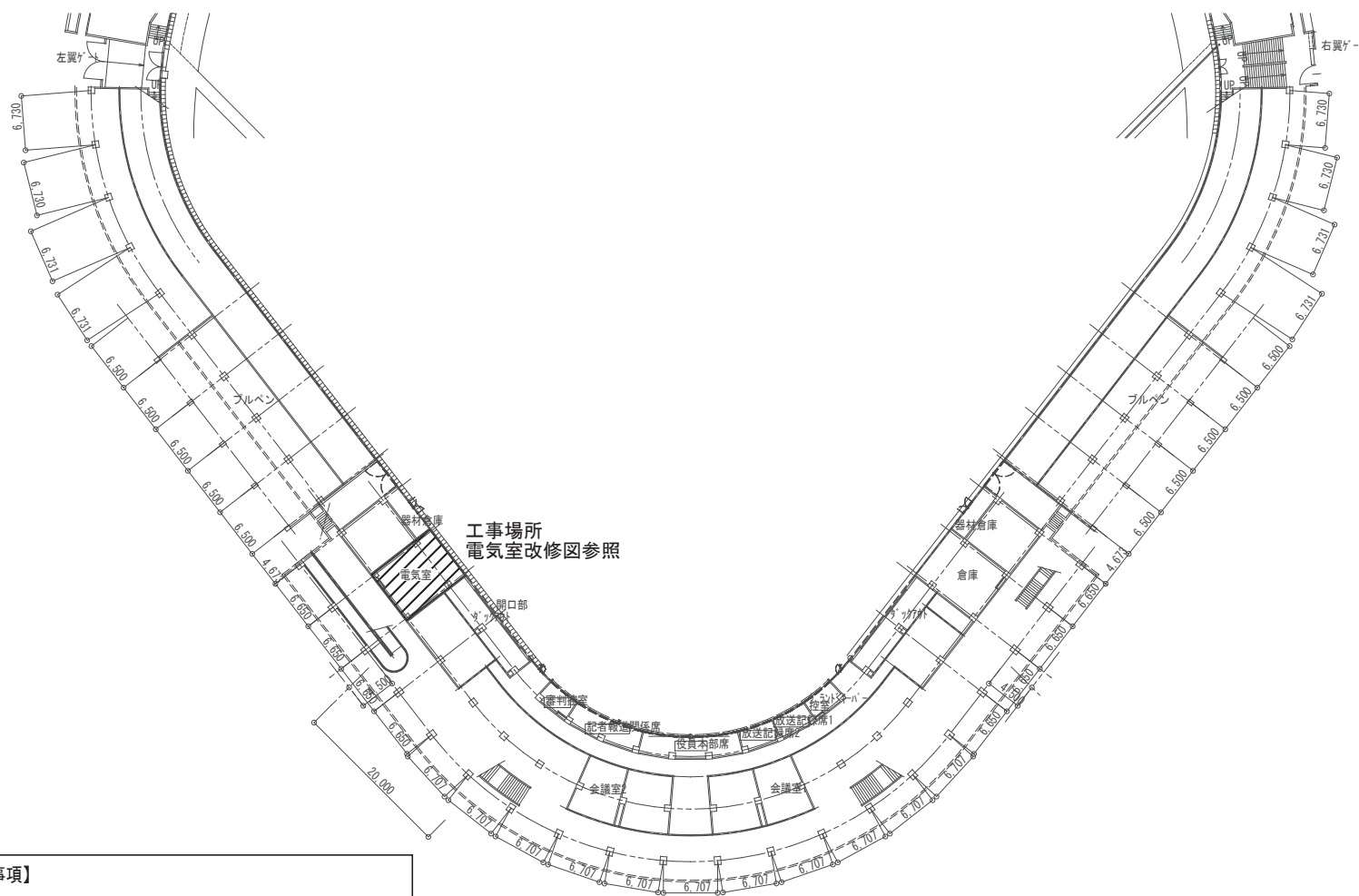
TITLE	ヤマタスポーツパーク受変電設備高圧進相コンデンサ更新工事(1工区)		
DRAWING NAME	【改修後】受変電設備 高压配電系統図		
DATE	2026.03	SCALE	S=1/NS
DRAWING NO	E-05		

山根設計
 山根設計 二級建築士事務所 鳥取県知事登録(30)第2104号
 二級建築士 池谷 美弥子 登録番号 第3166号



改修前後

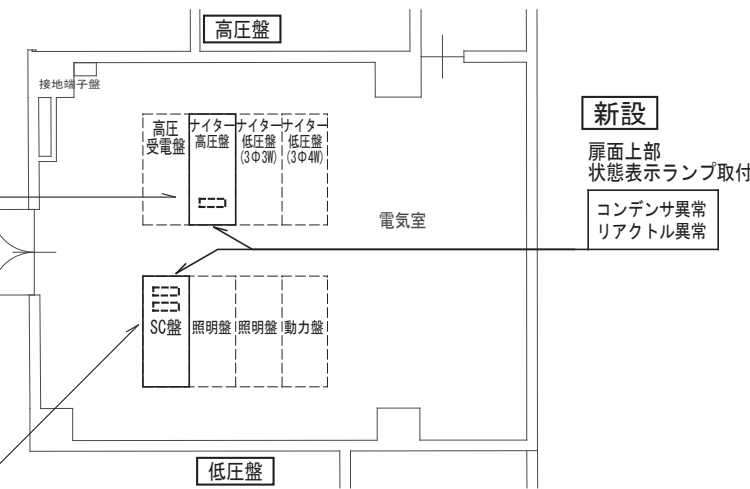
野球場 受変電設備 キュービクル改修図



野球場 1階キープラン S=1/600

- 【特記事項】
1. 図中太線を本工程とし、細線・破線は既設のままとする。
 2. 施工の際は、停電作業日程を施設と調整を行うこと。
 3. 施工の際は、事前に機器設置スペース等確認すること。

- 撤去** 高圧コンデンサ
6.6kV
SC36kvar (油入) ×1
- 新設** 高圧コンデンサ
高圧リアクトル
6.6kV
SC36kvar (油入) ×1
SR L=6% (乾式) ×1
- 撤去** 高圧コンデンサ
6.6kV
SC24kvar (油入) ×1
SC12kvar (油入) ×1
- 新設** 高圧コンデンサ
高圧リアクトル
6.6kV
SC24kvar (油入) ×1
SR L=6% (乾式) ×1
SC12kvar (油入) ×1
SR L=6% (乾式) ×1

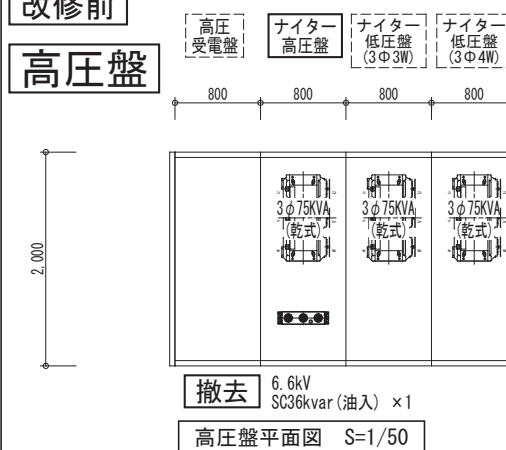


野球場 電気室改修図 S=1/100

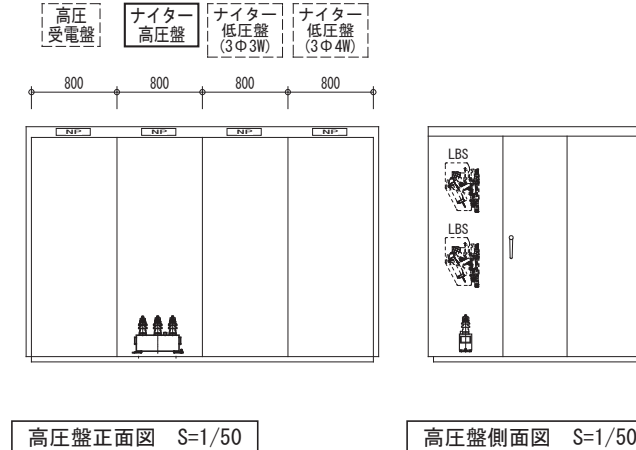
キュービクル改修図

改修前

高圧盤



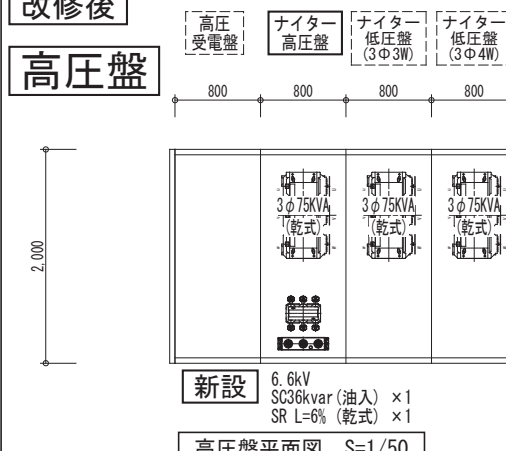
撤去 6.6kV
SC36kvar (油入) ×1
高圧盤平面図 S=1/50



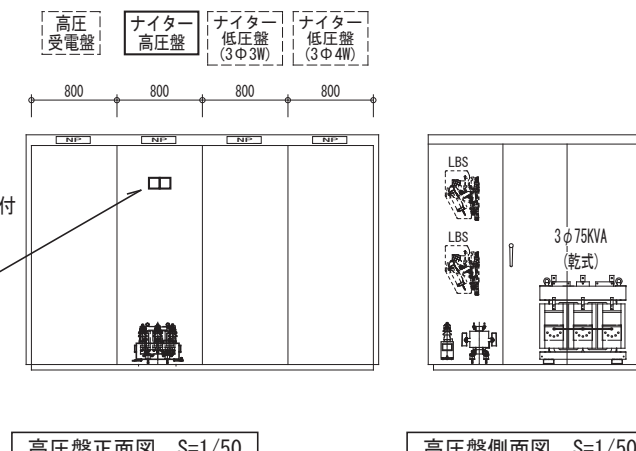
高圧盤正面図 S=1/50
高圧盤側面図 S=1/50

改修後

高圧盤



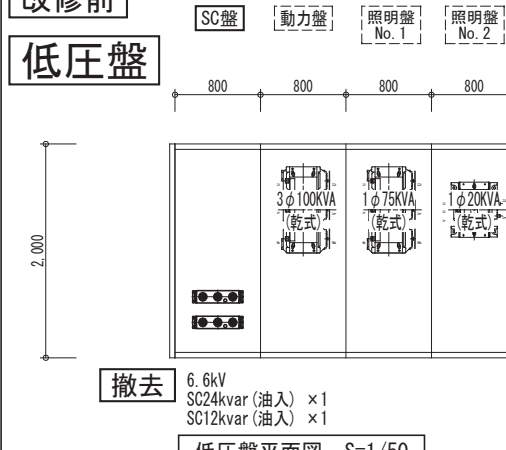
新設 6.6kV
SC36kvar (油入) ×1
SR L=6% (乾式) ×1
高圧盤平面図 S=1/50



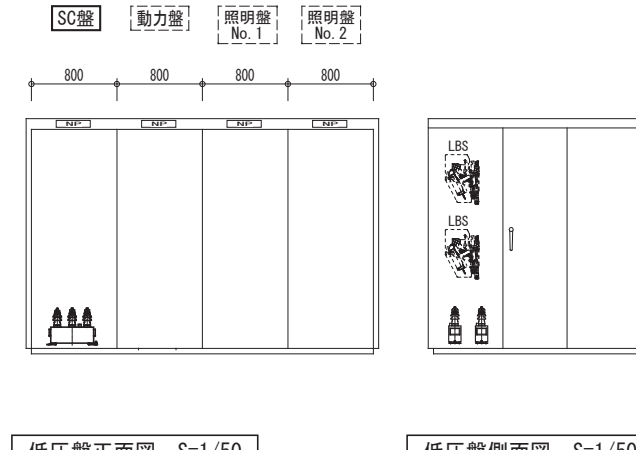
高圧盤正面図 S=1/50
高圧盤側面図 S=1/50

改修前

低圧盤



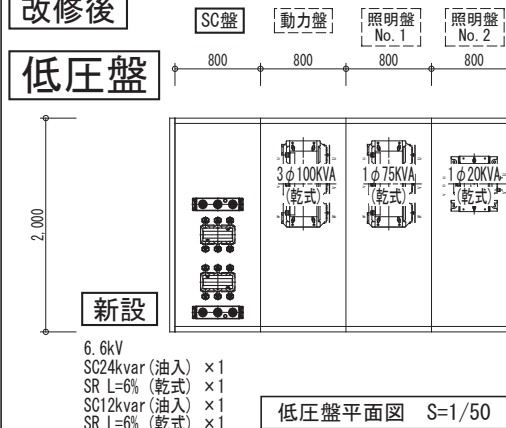
撤去 6.6kV
SC24kvar (油入) ×1
SC12kvar (油入) ×1
低圧盤平面図 S=1/50



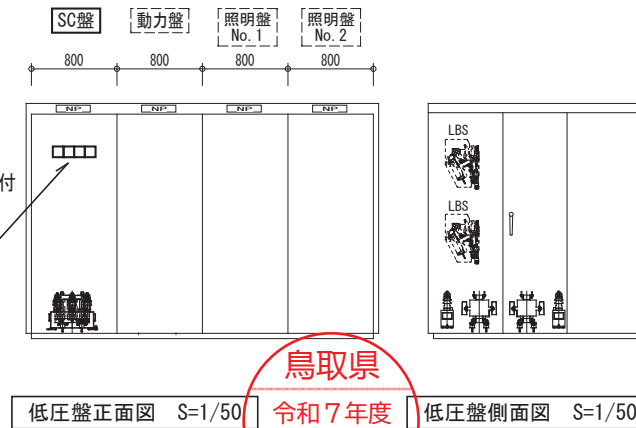
低圧盤正面図 S=1/50
低圧盤側面図 S=1/50

改修後

低圧盤



新設 6.6kV
SC24kvar (油入) ×1
SR L=6% (乾式) ×1
SC12kvar (油入) ×1
SR L=6% (乾式) ×1
低圧盤平面図 S=1/50



低圧盤正面図 S=1/50
低圧盤側面図 S=1/50

TITLE	ヤマタスポーツパーク受変電設備高圧進相コンデンサ更新工事(1工区)		
DRAWING NAME	野球場 受変電設備 1階電気室改修図		
DATE	2026.03	SCALE	S=1/50, 1/100, 1/600
DRAWING NO	E-06		

鳥取県 令和7年度 J2501728 東部建築住宅電設

山根電設 二級建築士事務所 鳥取県知事登録(30)第2104号 二級建築士 池谷 美弥子 登録番号 第3166号

改修前後

球技場 受変電設備 キュービクル改修図

【特記事項】

1. 図中太線を本工程とし、細線・破線は既設のままとする。
2. 施工の際は、停電作業日程を施設と調整を行うこと。
3. 施工の際は、事前に機器設置スペース等確認すること。

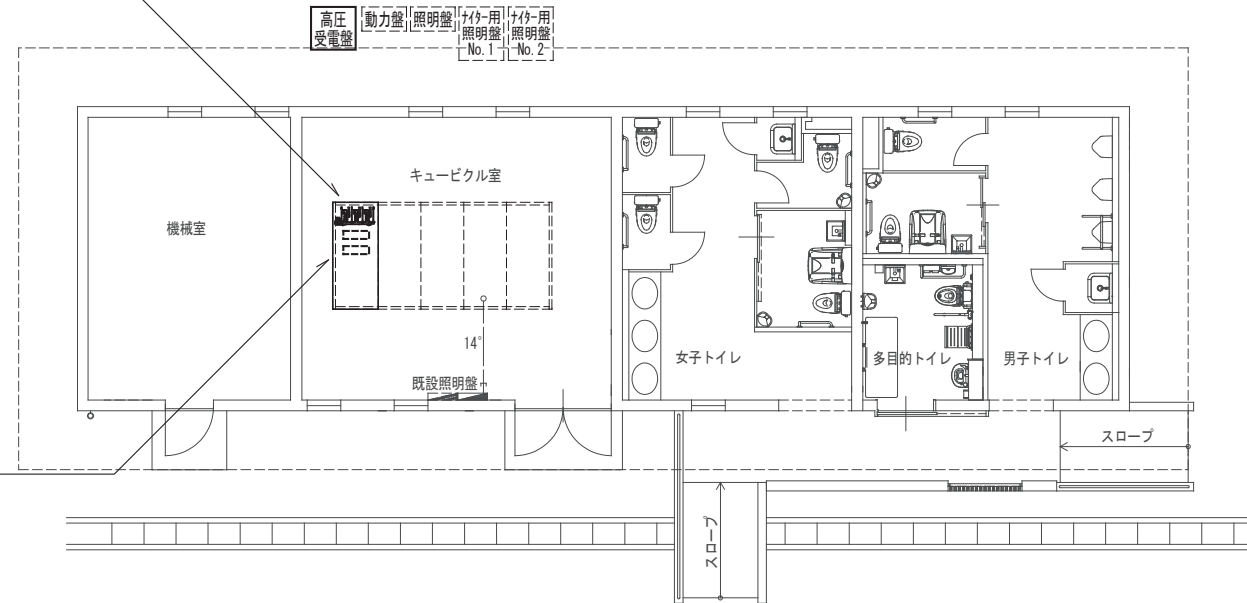
新設 扉面上部
状態表示ランプ取付
コンデンサ異常
リアクトル異常

既設 LBS
7.2kV3P200A
G20A×3

撤去 6.6kV
SC24kvar(油入)×1
LBS
7.2kV3P200A
G10A×3
6.6kV
SC12kvar(油入)×1

既設 LBS
7.2kV3P200A
G20A×3

新設 高圧コンデンサ
高圧リアクトル
6.6kV
SC36kvar(乾式ガス)×1
SR L=6%(乾式)×1

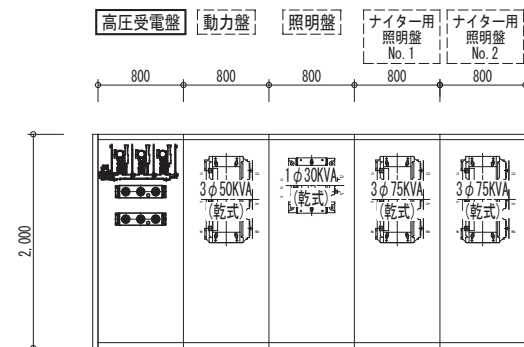


球技場 キュービクル室改修図 S=1/100

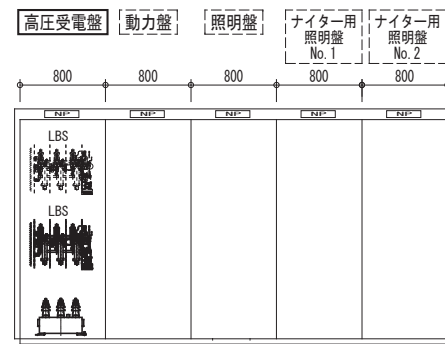
キュービクル改修図

改修前

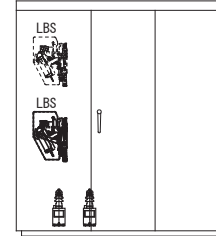
既設 LBS
7.2kV3P200A
G20A×3
撤去 6.6kV
SC24kvar(油入)×1
LBS
7.2kV3P200A
G10A×3
6.6kV
SC12kvar(油入)×1



平面図 S=1/50



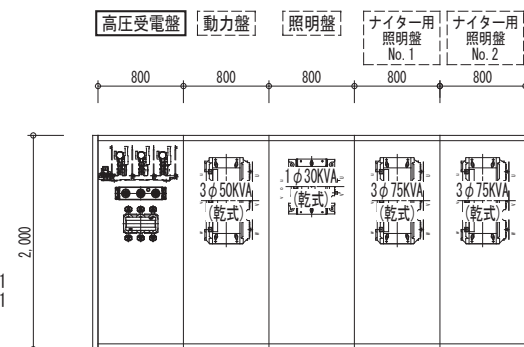
正面図 S=1/50



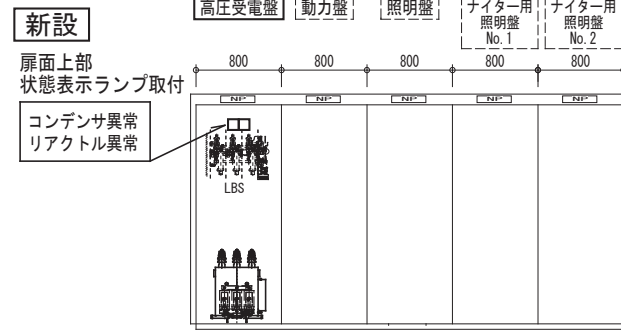
側面図 S=1/50

改修後

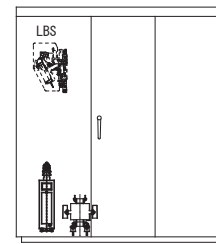
既設 LBS
7.2kV3P200A
G20A×3
新設 高圧コンデンサ
高圧リアクトル
6.6kV
SC36kvar(乾式ガス)×1
SR L=6%(乾式)×1



平面図 S=1/50



正面図 S=1/50



側面図 S=1/50

TITLE	ヤマタスポーツパーク受変電設備高圧進相コンデンサ更新工事(1工区)			
DRAWING NAME	球技場 受変電設備 キュービクル室改修図			
DATE	2026.03	SCALE	S=1/50, 1/100	DRAWING NO. E-07

山根設計
YAMANE
二級建築士事務所 鳥取県知事登録(30)第2104号
二級建築士 池谷 美弥子 登録番号 第3166号




鳥取県
令和7年度
J2501728
東部建築住宅
事務所



ヤマタスポーツパーク受変電設備高圧進相コンデンサ更新工事(2工区)

図面番号	図面名称	縮尺
E-00	図面リスト	S=1/NS
E-01	電気設備工事特記仕様書(1)	S=1/NS
E-02	電気設備工事特記仕様書(2)	S=1/NS
E-03	配置図、付近見取図	S=1/2000
E-04	【改修前】受変電設備 高圧配電系統図	S=1/NS
E-05	【改修後】受変電設備 高圧配電系統図	S=1/NS
E-06	陸上競技場 受変電設備 1階電気室改修図	S=1/50, 100, 400
E-07	大型映像 受変電設備 キュービクル改修図	S=1/50, 1500



TITLE	ヤマタスポーツパーク受変電設備高圧進相コンデンサ更新工事(2工区)				 山根設計	二級建築士事務所 鳥取県知事登録(05)第2104号 二級建築士 池谷 美弥子 登録番号 第3166号
DRAWING NAME	図面リスト					
DATE	2026.03	SCALE	S=1/NS	DRAWING NO	E-00	 

電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 鳥取市布勢

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	ヤマタスポーツパーク陸上競技場	RC造	3F	7,658.38	(1) 項 イ	改修工事
2	ヤマタスポーツパーク陸上競技場大型映像表示設備				(1) 項 イ	改修工事 屋外キュービクル
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工事種目 (☉印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1					屋外	備考
		1	2	3	4	5		
● 電灯設備								
● 動力設備								
● 電熱設備								
● 雷保護設備								
☉ 受変電設備	○					○		
● 電力貯蔵設備								
● 発電設備								
● 構内情報通信網設備								
● 構内交換設備								
● 情報表示設備								
● 映像・音響設備	通							
● 拡声設備								
● 誘導支援設備	備							
● テレビ共同受信設備								
● 監視カメラ設備								
● 駐車場管制設備								
● 防犯・入退室管理設備								
● 火災報知設備								
● 中央監視制御設備								
● 医療関係設備								
● 構内配電線路								
● 構内通信線路								
● テレビ電波障害防除設備								
● 機械設備工事								
● 建築工事								

4 設備概要 (本工程における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

☉の付いたものを適用する。

項目	特記事項
● 電灯設備	● 電気方式 ● 非常用照明器具 ● 誘導灯
● 動力設備	● 電気方式
● 雷保護設備	● 受雷部 ● 避雷導線 ● 接地極
☉ 受変電設備	● 電気方式 ● 契約電力 ● 設備方式 ● 機器類

項目	特記事項
● 電力監視設備	● 直流電源装置 ● 交流無停電電源装置(UPS)
● 発電設備	● 自家発電装置 ● 太陽光発電装置 ● 風力発電装置
● 通信情報設備	● 構内情報通信網設備 ● 構内交換設備 ● 情報表示設備 ● 映像・音響設備 ● 拡声設備 ● 誘導支援設備 ● テレビ共同受信設備 ● 監視カメラ設備 ● 駐車場管制設備 ● 防犯・入退室管理設備 ● 自動火災報知設備 ● 自動閉鎖設備 ● 非常警報設備 ● ガス漏れ火災警報設備
● 中央制御設備	● 形式 ● 監視制御対象設備 ● 伝送方式
● 構内配電線路	● 電気方式 ● 施工方法 ● 外灯点滅方式
● 構内通信線路	● 用途 ● 施工方法
● テレビ電波防除設備	● 対策方策 ● 責任分界点

II. 特記仕様

1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官庁官庁営繕部監修の標準仕様書のうち☉印の付いたものによる。
 - 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準仕様書」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「改修標準仕様書」という。)
 - 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準図」という。)
- 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。
- 機械設備工事及び建築工事を本工程に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

- 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は☉の付いたものを適用する。
 - ☉の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。☉と※の付いた場合は共に適用する。
- 一般共通事項のうち(1, 2, 4, 8, 9, 11, 12, 13, 14, 15, 35) 項は、● 建築 ● 機械設備 工事特記仕様書による。

項目	特記事項
① 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続は、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
② 電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。 なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。 引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ☉本工程において調査を行う (● PCB使用機器 ● アスベスト含有設備資機材 (● 配線用遮断機 ●)) PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ☉有り
③ 電気工事士	
4 工事安全計画書等	
⑤ 発生の分析及び処理	

⑥ 機材等	本工程に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ. 機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図面に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。 なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。																																																																																																									
⑦ 機材の品質・性能証明	使用する機材がⅢ. 機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを提出する。																																																																																																									
⑧ 施工図等																																																																																																										
⑨ 完成写真等																																																																																																										
⑩ 完成図等																																																																																																										
11 他工事との取合い	次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。																																																																																																									
	<table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>分類・規格</th><th>撮影箇所</th><th>部数</th><th>電子データの提出</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事写真</td><td>カラーサービスタ</td><td>各工種工程毎</td><td>※ 1部 ● 部</td><td>☉要 ● 不要</td></tr><tr><td>完成写真</td><td>カラーサービスタ</td><td>監督職員の指示による</td><td>※ 2部 ● 部</td><td>☉要 ● 不要</td></tr></tbody></table>	区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出	工事写真	カラーサービスタ	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	☉要 ● 不要	完成写真	カラーサービスタ	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	☉要 ● 不要																																																																																										
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出																																																																																																						
工事写真	カラーサービスタ	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	☉要 ● 不要																																																																																																						
完成写真	カラーサービスタ	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	☉要 ● 不要																																																																																																						
	<table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>名称</th><th>部数</th></tr></thead><tbody><tr><td>※ 完成図原因</td><td>完成図 ● 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ</td><td>1部</td></tr><tr><td>※ 完成図 2つ折製本</td><td>※ 完成図 ※ 完成図(縮小版)</td><td>※ 2部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 完成図書</td><td>☉ 完成図(縮小版) ※ A4版市販ファイル ● A4版黒表紙製本 ☉ 試験成績書</td><td>※ 2部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 保守用説明書 A4版ファイル</td><td>※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表</td><td>※ 2部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 保証書</td><td></td><td>1部</td></tr><tr><td>※ 官公署届出書類</td><td></td><td>1部</td></tr><tr><td>☉ 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	区分	名称	部数	※ 完成図原因	完成図 ● 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ	1部	※ 完成図 2つ折製本	※ 完成図 ※ 完成図(縮小版)	※ 2部 ● 部	※ 完成図書	☉ 完成図(縮小版) ※ A4版市販ファイル ● A4版黒表紙製本 ☉ 試験成績書	※ 2部 ● 部	※ 保守用説明書 A4版ファイル	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部	※ 保証書		1部	※ 官公署届出書類		1部	☉ 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。																																																																																			
区分	名称	部数																																																																																																								
※ 完成図原因	完成図 ● 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ	1部																																																																																																								
※ 完成図 2つ折製本	※ 完成図 ※ 完成図(縮小版)	※ 2部 ● 部																																																																																																								
※ 完成図書	☉ 完成図(縮小版) ※ A4版市販ファイル ● A4版黒表紙製本 ☉ 試験成績書	※ 2部 ● 部																																																																																																								
※ 保守用説明書 A4版ファイル	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部																																																																																																								
※ 保証書		1部																																																																																																								
※ 官公署届出書類		1部																																																																																																								
☉ 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。																																																																																																										
	<table border="1"><thead><tr><th colspan="2">他工事との取合い</th><th>電気設備</th><th>機械設備</th><th>建築</th></tr></thead><tbody><tr><td>● コンクリート壁、床、梁貫通部</td><td>補強</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td></td><td>スリーブ・箱入</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>● 鉄骨造の開口及び補強</td><td></td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)</td><td></td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地</td><td></td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>● 埋込分電盤・端子盤・フルボックスの仮枠及び埋込部分の補強</td><td>仮枠</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td></td><td>補強</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>● O.Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強</td><td></td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材</td><td>切り込み</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td></td><td>補強</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>● 自動閉閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ</td><td></td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>● 電気室、自家発電機室などの基礎及びビット(蓋を含む)</td><td></td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線</td><td></td><td>●</td><td>※</td><td>●</td></tr><tr><td>● 機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線</td><td></td><td>●</td><td>※</td><td>●</td></tr><tr><td>● テレビアンテナ</td><td>基礎</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td></td><td>アンカーボルト</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>● 天井点検口</td><td></td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr><tr><td>● 自立型制御盤の基礎</td><td></td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>● 機器類のコンクリート基礎</td><td>屋内・屋外設置</td><td>※</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td></td><td>屋上設置</td><td>●</td><td>●</td><td>※</td></tr></tbody></table>	他工事との取合い		電気設備	機械設備	建築	● コンクリート壁、床、梁貫通部	補強	●	●	※		スリーブ・箱入	※	●	●	● 鉄骨造の開口及び補強		●	●	※	● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)		※	●	●	● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		※	●	●	● 埋込分電盤・端子盤・フルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	※	●	●		補強	●	●	※	● O.Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		●	●	※	● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切り込み	※	●	●		補強	●	●	※	● 自動閉閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		●	●	※	● 電気室、自家発電機室などの基礎及びビット(蓋を含む)		●	●	※	● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	※	●	● 機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線		●	※	●	● テレビアンテナ	基礎	●	●	※		アンカーボルト	※	●	●	● 天井点検口		●	●	※	● 自立型制御盤の基礎		※	●	●	● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	※	●	●		屋上設置	●	●	※
他工事との取合い		電気設備	機械設備	建築																																																																																																						
● コンクリート壁、床、梁貫通部	補強	●	●	※																																																																																																						
	スリーブ・箱入	※	●	●																																																																																																						
● 鉄骨造の開口及び補強		●	●	※																																																																																																						
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)		※	●	●																																																																																																						
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		※	●	●																																																																																																						
● 埋込分電盤・端子盤・フルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠	※	●	●																																																																																																						
	補強	●	●	※																																																																																																						
● O.Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		●	●	※																																																																																																						
● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切り込み	※	●	●																																																																																																						
	補強	●	●	※																																																																																																						
● 自動閉閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		●	●	※																																																																																																						
● 電気室、自家発電機室などの基礎及びビット(蓋を含む)		●	●	※																																																																																																						
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	※	●																																																																																																						
● 機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線		●	※	●																																																																																																						
● テレビアンテナ	基礎	●	●	※																																																																																																						
	アンカーボルト	※	●	●																																																																																																						
● 天井点検口		●	●	※																																																																																																						
● 自立型制御盤の基礎		※	●	●																																																																																																						
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	※	●	●																																																																																																						
	屋上設置	●	●	※																																																																																																						
⑬ 表示板	本工程に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。 設ける。(寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一括して表示する) ※ 工事表示板 ● お願ひ表示板																																																																																																									
14 足場	<table border="1"><thead><tr><th>900</th><th>1,200</th></tr></thead><tbody><tr><td><table border="1"><tr><td>建築工事中</td><td>御通行中の皆様へ</td></tr><tr><td>工事名 ○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○設計 施工者 ○○○○建設 運搬先 連絡 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○総合事務所環境建築局 建築住宅課 ○○担当 連絡先 ○○-○○○○</td><td>令和○○年○月工事完成予定 簡単なバス、又は立面図を掲載する (拡大カラーコピーを張り付けてもよい) 事業の目的 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 現在の進捗率○○% 工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力よろしくお願ひします。 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 TEL ○○-○○○○ 発注者 鳥取県 連絡先 鳥取県○総合事務所環境建築局 建築住宅課 ○○担当 TEL ○○-○○○○</td></tr></table></td></tr></tbody></table>	900	1,200	<table border="1"><tr><td>建築工事中</td><td>御通行中の皆様へ</td></tr><tr><td>工事名 ○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○設計 施工者 ○○○○建設 運搬先 連絡 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○総合事務所環境建築局 建築住宅課 ○○担当 連絡先 ○○-○○○○</td><td>令和○○年○月工事完成予定 簡単なバス、又は立面図を掲載する (拡大カラーコピーを張り付けてもよい) 事業の目的 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 現在の進捗率○○% 工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力よろしくお願ひします。 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 TEL ○○-○○○○ 発注者 鳥取県 連絡先 鳥取県○総合事務所環境建築局 建築住宅課 ○○担当 TEL ○○-○○○○</td></tr></table>	建築工事中	御通行中の皆様へ	工事名 ○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○設計 施工者 ○○○○建設 運搬先 連絡 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○総合事務所環境建築局 建築住宅課 ○○担当 連絡先 ○○-○○○○	令和○○年○月工事完成予定 簡単なバス、又は立面図を掲載する (拡大カラーコピーを張り付けてもよい) 事業の目的 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 現在の進捗率○○% 工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力よろしくお願ひします。 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 TEL ○○-○○○○ 発注者 鳥取県 連絡先 鳥取県○総合事務所環境建築局 建築住宅課 ○○担当 TEL ○○-○○○○																																																																																																		
900	1,200																																																																																																									
<table border="1"><tr><td>建築工事中</td><td>御通行中の皆様へ</td></tr><tr><td>工事名 ○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○設計 施工者 ○○○○建設 運搬先 連絡 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○総合事務所環境建築局 建築住宅課 ○○担当 連絡先 ○○-○○○○</td><td>令和○○年○月工事完成予定 簡単なバス、又は立面図を掲載する (拡大カラーコピーを張り付けてもよい) 事業の目的 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 現在の進捗率○○% 工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力よろしくお願ひします。 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 TEL ○○-○○○○ 発注者 鳥取県 連絡先 鳥取県○総合事務所環境建築局 建築住宅課 ○○担当 TEL ○○-○○○○</td></tr></table>	建築工事中	御通行中の皆様へ	工事名 ○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○設計 施工者 ○○○○建設 運搬先 連絡 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○総合事務所環境建築局 建築住宅課 ○○担当 連絡先 ○○-○○○○	令和○○年○月工事完成予定 簡単なバス、又は立面図を掲載する (拡大カラーコピーを張り付けてもよい) 事業の目的 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 現在の進捗率○○% 工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力よろしくお願ひします。 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 TEL ○○-○○○○ 発注者 鳥取県 連絡先 鳥取県○総合事務所環境建築局 建築住宅課 ○○担当 TEL ○○-○○○○																																																																																																						
建築工事中	御通行中の皆様へ																																																																																																									
工事名 ○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 ○階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○設計 施工者 ○○○○建設 運搬先 連絡 ○○-○○○○ 夜間 ○○-○○○○ 現場責任者 ○○ ○○ 鳥取県○総合事務所環境建築局 建築住宅課 ○○担当 連絡先 ○○-○○○○	令和○○年○月工事完成予定 簡単なバス、又は立面図を掲載する (拡大カラーコピーを張り付けてもよい) 事業の目的 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 現在の進捗率○○% 工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力よろしくお願ひします。 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 TEL ○○-○○○○ 発注者 鳥取県 連絡先 鳥取県○総合事務所環境建築局 建築住宅課 ○○担当 TEL ○○-○○○○																																																																																																									

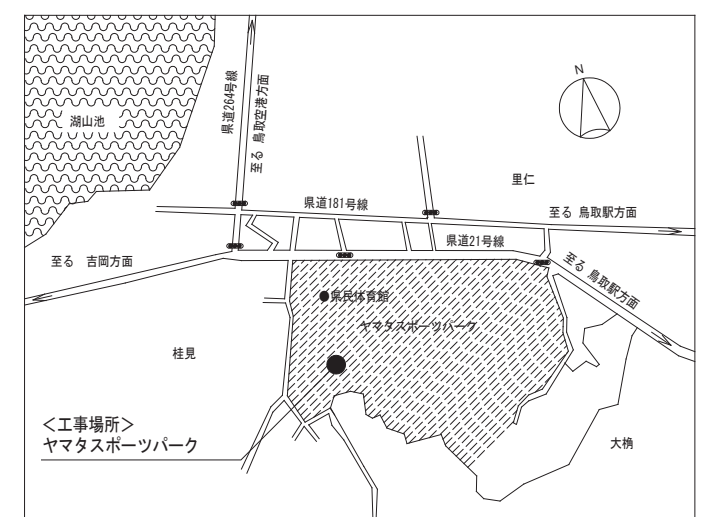
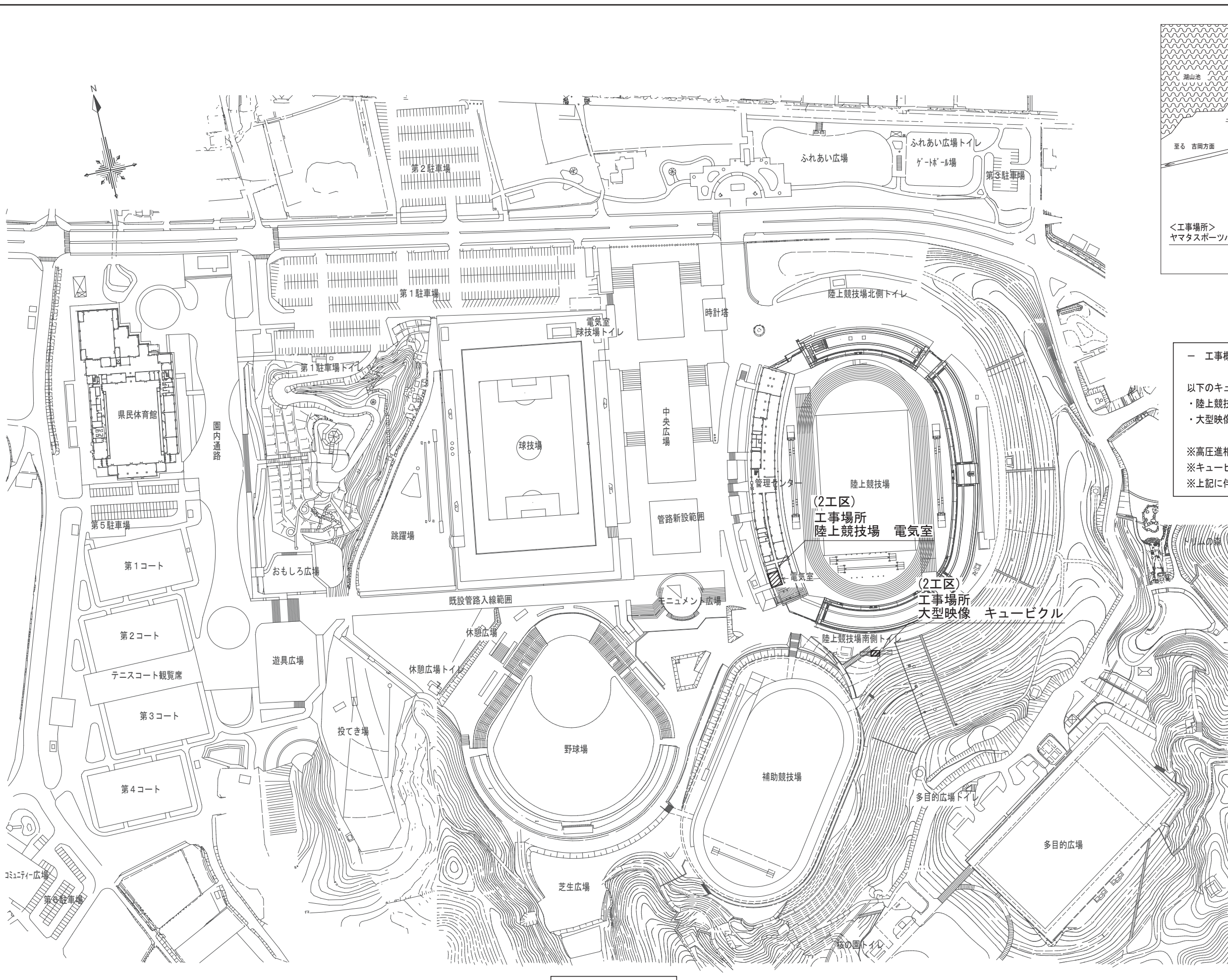


一般共通事項	15 工事用仮設物	構内につくることが ※ できる ● できない																																																												
	16 土工事	埋め戻し ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類 () ● 真砂土 () 建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積 本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。 EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。 壁内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。 ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側に配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 屋外露出配管(厚鋼電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ[めっき付質量 300g/m ² 以上]とする。																																																												
	17 電線類																																																													
	18 電線本数・管路等																																																													
	19 屋外露出配管の仕上げ																																																													
	20 露出配管の塗装(付属品含む)	塗装する部分 ● 屋上 ● 屋側 ● 屋外 ● 廊下 ● 機械室 ● 居室 () ●																																																												
	21 波付硬質合成樹脂管(FEP)	波付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。																																																												
	22 フラッシュプレートの材質	● 金属製(ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製																																																												
	23 カバープレートの表示	シール等を貼付し、用途を表示する。																																																												
	24 ブルボックスの塗装	ステンレス製ブルボックスの塗装 ※ 無(素地仕上) ● 有(指定色仕上)																																																												
	25 耐震施工	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。 1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器重量[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度																																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">● 特定の施設</th> <th colspan="2">● 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上層階 屋上及び塔屋</td> <td>機 器</td> <td rowspan="3">2.0</td> <td rowspan="3">1.5</td> <td rowspan="3">2.0</td> <td rowspan="3">1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中間階</td> <td>機 器</td> <td rowspan="3">1.5</td> <td rowspan="3">1.0</td> <td rowspan="3">1.5</td> <td rowspan="3">0.6</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地下及び1階</td> <td>機 器</td> <td rowspan="3">1.0</td> <td rowspan="3">0.6</td> <td rowspan="3">1.0</td> <td rowspan="3">0.4</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	機器種別	● 特定の施設		● 一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	2.0	1.0	防振支持の機器	水 槽 類	中間階	機 器	1.5	1.0	1.5	0.6	防振支持の機器	水 槽 類	地下及び1階	機 器	1.0	0.6	1.0	0.4	防振支持の機器	水 槽 類																										
	設置場所	機器種別			● 特定の施設		● 一般の施設																																																							
			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																								
	上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	2.0	1.0																																																								
		防振支持の機器																																																												
		水 槽 類																																																												
	中間階	機 器	1.5	1.0	1.5	0.6																																																								
		防振支持の機器																																																												
		水 槽 類																																																												
	地下及び1階	機 器	1.0	0.6	1.0	0.4																																																								
		防振支持の機器																																																												
		水 槽 類																																																												
		上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階 中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの 水槽類には燃料小出槽を含む 重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)																																																												
		2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。																																																												
	3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。																																																													
26 接地極	接地極の材料は次による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>接地の種類</th> <th>記号</th> <th>接地抵抗値</th> <th>接 地 極</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>● 共同接地</td> <td>EAED</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>● 共同接地</td> <td>EAECED</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>● A種</td> <td>EA</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>● B種</td> <td>EB</td> <td>Ω以下</td> <td>EB×2連-2組</td> </tr> <tr> <td>● C種</td> <td>EC</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>● D種</td> <td>ED</td> <td>100Ω以下</td> <td>EB×1</td> </tr> <tr> <td>● 高圧避雷器</td> <td>ELH</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>● 交換機用</td> <td>Et</td> <td>Ω以下</td> <td>EB×3連-1組</td> </tr> <tr> <td>● 通信用</td> <td>EAt</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>● 通信用</td> <td>EDt及びEDa</td> <td>100Ω以下</td> <td>EB×1</td> </tr> <tr> <td>● 電話引込口の保安器用</td> <td>ELt</td> <td>100Ω以下</td> <td>EB×1</td> </tr> <tr> <td>● 測定用</td> <td>Eo</td> <td>—</td> <td>EB×1</td> </tr> </tbody> </table> (連絡の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする) (ED,EDt,EDa,Elt,Eoの場合、EBはD=10 L=1000 または W=30 L=900 以上とする) (その他単独の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする) ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。 外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による処理を行うアスベスト含有建材の仕様等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。 ※ 官公署その他への手続きは、同仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。 ● 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。 分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。 ● アスベスト粉じん濃度測定を行う。 (測定時期：) 測定場所：) 測定点：) ● 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。 ● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 対象箇所()	接地の種類	記号	接地抵抗値	接 地 極	● 共同接地	EAED	10Ω以下	EB×3連-2組	● 共同接地	EAECED	10Ω以下	EB×3連-2組	● A種	EA	10Ω以下	EB×3連-2組	● B種	EB	Ω以下	EB×2連-2組	● C種	EC	10Ω以下	EB×3連-2組	● D種	ED	100Ω以下	EB×1	● 高圧避雷器	ELH	10Ω以下	EB×3連-2組	● 交換機用	Et	Ω以下	EB×3連-1組	● 通信用	EAt	10Ω以下	EB×3連-2組	● 通信用	EDt及びEDa	100Ω以下	EB×1	● 電話引込口の保安器用	ELt	100Ω以下	EB×1	● 測定用	Eo	—	EB×1	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲						
接地の種類	記号	接地抵抗値	接 地 極																																																											
● 共同接地	EAED	10Ω以下	EB×3連-2組																																																											
● 共同接地	EAECED	10Ω以下	EB×3連-2組																																																											
● A種	EA	10Ω以下	EB×3連-2組																																																											
● B種	EB	Ω以下	EB×2連-2組																																																											
● C種	EC	10Ω以下	EB×3連-2組																																																											
● D種	ED	100Ω以下	EB×1																																																											
● 高圧避雷器	ELH	10Ω以下	EB×3連-2組																																																											
● 交換機用	Et	Ω以下	EB×3連-1組																																																											
● 通信用	EAt	10Ω以下	EB×3連-2組																																																											
● 通信用	EDt及びEDa	100Ω以下	EB×1																																																											
● 電話引込口の保安器用	ELt	100Ω以下	EB×1																																																											
● 測定用	Eo	—	EB×1																																																											
建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																												
27 屋上、屋側の支持金物等																																																														
28 結露防止																																																														
29 アスベスト含有建材の処理																																																														

一般共通事項	30 補修など	工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
	31 はつり	
	32 はつり工事における非破壊検査	探査方法 ※ 磁気誘導式 ● 放射線透過検査 ●
	33 あと施工アンカー	1) 施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う 試験方法 引張試験機による引張試験 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上 対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置 実施する。 工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 (保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。) ※ 対象工事 ※ 対象工事
	34 室内空気中の化学物質の濃度測定	
	35 火災保険等	
	36 鳥取県公共事業環境配慮指針	
	37 建築物省エネ法	
	1 照明器具	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。) ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時(※ 夜間 ● 昼間) 調光制御点灯時(※ 夜間 ※ 昼間)
	2 一般照明の照度測定	
	3 非常用照明の照度測定	
	4 照明制御の照度測定等	
	1 機器への接続	※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事
	1 大地抵抗率の測定	● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。 ● 構造物利用接地極 ● A型接地極 ● B型接地極
	2 外部雷保護設備接地システム	
	1 変圧器移動車輪	75kVA以上に取付。
	2 デマンド監視装置	● 本工事 ● 別途工事
	3 壁内照明	前・後に設置する。
	1 交流無停電電源装置(UPS)	停電補償時間(分) 方式(● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式)
	1 自家発電装置	運転時間(h) システム系(● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 出力(kW) 配電盤外箱(● 有 ● 無) 保安装置(重故障項目特記 ● 有 ● 無) 外部用端子(● 要 ● 不要) 減圧水槽及び初期注水槽の材質(● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製) オイルタンク(● 地下 ● 屋内) 据付：機械設備工事標準図(● 施工30、32(タンク室無し) ● 施工31、33(タンク室有り)) 燃料小出槽(注)：返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通断形接点とする。 材質(● 鋼板製 ● ステンレス製) 燃料油等(● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス()) 排気系統配管断熱材の厚さ(mm) ばい煙測定口(● 設ける ● 設けない) 排気ガスに含まれる室蒸気酸化物(以下) 運転音(dB以下) 系統連系(● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 公称最大出力(kW) 耐風速(m/s) パワーコンディショナ(相線式V) 定格容量(kW) 自立運転機能(● 有 ● 無) 表示装置(● 有 ● 無) 方式(※ 液晶 ●) 系統連系(● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 定格出力(kW)
	1 ディーゼル発電装置	
	2 ガスエンジン発電装置	
	3 ガスタービン発電装置	
	4 熱併給発電装置	
	5 燃料電池発電装置	
1 交換装置	局線応答方式(● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式) 停電補償時間(分) ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線(現用/実装/容量) ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台 卓上電話機1台につき次のものを見込む。 ● ボタン電話機(● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●) ● 内線電話機(● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C) (※ 15m ●) ● 多機能電話機(● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●) ● IP電話機(● EM-UTP 0.5-4P ●) (※ 15m ●)	
1 保安器用接地		
2 壁付電話機との接続		
3 回線数		
4 回線数		
5 電話機		
6 電話機への配線		
1 マルチサイン装置	イメージスキャナ(● 設ける ● 設けない)	
2 出退表示装置	制御装置(● 壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形) 呼出機能(● 有 ● 無) 方式(● 発光ダイオード ● 液晶 ●)	
3 時刻表示装置	親時計(● 壁掛形 回線 ● ラック形 回線) 太陽電池式屋外時計(点灯時間 h 点灯保証日数 日)	
1 プロジェクタ	光出力(● I形 ● II形 ● III形) 解像度(● A形 ● B形 ● C形) コントラスト比(● X形 ● Y形)	

一般共通事項	10 拡声設備	1 増幅器 形式(● 卓上形 ● ラック形) 定格出力(W) 性能(● Hi形 ● Lo形) ● 増幅器の入出力配線と外部配管(壁ボックス等)の接続はコネクタによる。																																																																											
	11 誘導支援	検出方式(● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式)																																																																											
	12 火災報知設備	1 自動火災報知設備 受信機(● 型 級 回線(番機型) ● 複合形 ● 単独形) 2 自動閉鎖設備 ● 防火戸用(※ ラッチ式 ● 電磁式) ● 防煙ダンパー用(※ 電動復帰 ● 手動復帰) ● 防火シャッター用(※ 別途工事 ● 本工事) 3 ガス漏れ火災警報設備 検知器(● 天井取付形 ● 壁取付形)																																																																											
	13 構内配電線路	1 施工方法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上(● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ●) 2 地中箱 蓋の記号表示は鋳型流込み(鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 ● 閉鎖形(● 軽耐塩形 ● 重耐塩形) ● 地絡継電器付(※ 方向性 ● 無方向性) ● 避雷器内蔵 ※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。 高圧ケーブルの両端部にシースの縮み対策(熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等)を行う。 3 高圧負荷開閉器 ● 一般形 ● 耐塩形 ※ 高圧 ● 低圧 4 高圧ケーブルの端末部 照明用ポールには配線用遮断器(トリップ機能なし)又はカットアウトスイッチ(素通しヒューズ)を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。 5 高圧ケーブルの屋外末端処理 ● 一般形 ● 耐塩形 6 標識シート ※ 高圧 ● 低圧 7 照明用ポール																																																																											
	14 構内通信線路	1 施工方法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上(● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ●) 2 地中箱 蓋の記号表示は鋳型流込み(鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 ● データ回線 ● 電話 ● CATV ●																																																																											
	15 テレビモニタ電波受信障害調査	1 調査仕様 図面に記載されていない事項は、すべて(一社)日本CATV技術協会の「建物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建物によるテレビ受信障害調査要領(地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。 ※ 事前 ● 中間 ※ 事後 2 テレビ電波受信障害調査時期 中継局 波： 地点 3 受信する受信波及び地点数 中継局 波： 地点 4 報告書提出部数 ※ 事前 3部 ● 中間 部 ※ 事後 3部																																																																											
	16 その他	1 機器取付高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>測 点</th> <th>取付高(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力共通</td> <td>取引用計器</td> <td>地上~窓中心 1,800~2,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>引込開閉器</td> <td>地上~窓中心 1,800~2,200</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">電 灯</td> <td>分電盤・OA室・実験室</td> <td>床上~中心 1,500(上端1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>スイッチ</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>”(多機能トイレ)</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>コンセント(一般)</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>”(和室)</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>”(台上)</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>”(土間)</td> <td>床上~中心 800~1,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">動 力</td> <td>”(車椅子用)</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>ブラケット(一般)</td> <td>2,100~2,300</td> </tr> <tr> <td>”(踊場)</td> <td>2,000~2,500</td> </tr> <tr> <td></td> <td>”(鏡上)</td> <td>鏡上端~中心 150</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">構内交換</td> <td>壁掛形制御盤</td> <td>床上~中心 1,500(上端1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>手元開閉器</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>操作スイッチ</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電気時計</td> <td>端子盤</td> <td>床上~下端 300</td> </tr> <tr> <td>保安器箱</td> <td>天井下~上端 200</td> </tr> <tr> <td>壁付アウトレット</td> <td>床上~中心 300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">拡 声</td> <td>”(和室)</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>壁掛形親時計</td> <td>床上~中心 1,500(上限1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>子時計</td> <td>” 天井高×0.9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁掛形スピーカ</td> <td>床上~中心 天井高×0.9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁付アツテナータ</td> <td>” 1,300</td> </tr> </tbody> </table> 2 工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。	名 称	測 点	取付高(mm)	電力共通	取引用計器	地上~窓中心 1,800~2,000		引込開閉器	地上~窓中心 1,800~2,200				電 灯	分電盤・OA室・実験室	床上~中心 1,500(上端1,900以下)	スイッチ	1,300	”(多機能トイレ)	1,100	コンセント(一般)	300	”(和室)	150	”(台上)	150	”(土間)	床上~中心 800~1,300	動 力	”(車椅子用)	900	ブラケット(一般)	2,100~2,300	”(踊場)	2,000~2,500		”(鏡上)	鏡上端~中心 150	構内交換	壁掛形制御盤	床上~中心 1,500(上端1,900以下)	手元開閉器	1,500	操作スイッチ	1,300	電気時計	端子盤	床上~下端 300	保安器箱	天井下~上端 200	壁付アウトレット	床上~中心 300	拡 声	”(和室)	150	壁掛形親時計	床上~中心 1,500(上限1,900以下)	子時計	” 天井高×0.9		壁掛形スピーカ	床上~中心 天井高×0.9		壁付アツテナータ	” 1,300											
	名 称	測 点	取付高(mm)																																																																										
	電力共通	取引用計器	地上~窓中心 1,800~2,000																																																																										
		引込開閉器	地上~窓中心 1,800~2,200																																																																										
	電 灯	分電盤・OA室・実験室	床上~中心 1,500(上端1,900以下)																																																																										
		スイッチ	1,300																																																																										
		”(多機能トイレ)	1,100																																																																										
		コンセント(一般)	300																																																																										
		”(和室)	150																																																																										
		”(台上)	150																																																																										
		”(土間)	床上~中心 800~1,300																																																																										
	動 力	”(車椅子用)	900																																																																										
		ブラケット(一般)	2,100~2,300																																																																										
		”(踊場)	2,000~2,500																																																																										
		”(鏡上)	鏡上端~中心 150																																																																										
	構内交換	壁掛形制御盤	床上~中心 1,500(上端1,900以下)																																																																										
		手元開閉器	1,500																																																																										
		操作スイッチ	1,300																																																																										
電気時計	端子盤	床上~下端 300																																																																											
	保安器箱	天井下~上端 200																																																																											
	壁付アウトレット	床上~中心 300																																																																											
拡 声	”(和室)	150																																																																											
	壁掛形親時計	床上~中心 1,500(上限1,900以下)																																																																											
	子時計	” 天井高×0.9																																																																											
	壁掛形スピーカ	床上~中心 天井高×0.9																																																																											
	壁付アツテナータ	” 1,300																																																																											
17 表 示	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>測 点</th> <th>取付高(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表示盤</td> <td>床上~中心</td> <td>天井高×0.9</td> </tr> <tr> <td>壁付発信器</td> <td>”</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>ベル、ブザー、チャイム</td> <td>”</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>受付押ボタン(一般)</td> <td>”</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>電源箱</td> <td>床上~下端</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">講 義 室</td> <td>外部受付用インターホン(子機)</td> <td>標準図による</td> </tr> <tr> <td>壁付インターホン(上記以外)</td> <td>床上~中心 1,300</td> </tr> <tr> <td>壁付押ボタン(多機能トイレ)</td> <td>”</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>壁付押ボタン(多機能トイレ)床転倒時用</td> <td>”</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">テ レ ビ 共 同 受 信</td> <td>機器収容箱</td> <td>天井下~上端 200</td> </tr> <tr> <td>テレビ端子</td> <td>床上~中心 300</td> </tr> <tr> <td>”(和室)</td> <td>”</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">火 災 報 知</td> <td></td> <td></td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>受信機・副受信機</td> <td>床上~操作部</td> <td>800~1,500</td> </tr> <tr> <td>機器収容箱</td> <td>”</td> <td>800~1,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ガ ス 検 知</td> <td>発信機</td> <td>床上~中心</td> <td>800~1,500</td> </tr> <tr> <td>ベル</td> <td>天井下~上端</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表示灯</td> <td>”</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ガス漏れ中継器</td> <td>天井下~中心</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>検知器(都市ガス)</td> <td>天井下~下端</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>”(LPGガス)</td> <td>床上~上端</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	測 点	取付高(mm)	表示盤	床上~中心	天井高×0.9	壁付発信器	”	1,300	ベル、ブザー、チャイム	”	2,300	受付押ボタン(一般)	”	1,300	電源箱	床上~下端	300				講 義 室	外部受付用インターホン(子機)	標準図による	壁付インターホン(上記以外)	床上~中心 1,300	壁付押ボタン(多機能トイレ)	”	900	壁付押ボタン(多機能トイレ)床転倒時用	”	300				テ レ ビ 共 同 受 信	機器収容箱	天井下~上端 200	テレビ端子	床上~中心 300	”(和室)	”	150	火 災 報 知			1,500	受信機・副受信機	床上~操作部	800~1,500	機器収容箱	”	800~1,500	ガ ス 検 知	発信機	床上~中心	800~1,500	ベル	天井下~上端	200		表示灯	”	200		ガス漏れ中継器	天井下~中心	300		検知器(都市ガス)	天井下~下端	300		”(LPGガス)	床上~上端	300
名 称	測 点	取付高(mm)																																																																											
表示盤	床上~中心	天井高×0.9																																																																											
壁付発信器	”	1,300																																																																											
ベル、ブザー、チャイム	”	2,300																																																																											
受付押ボタン(一般)	”	1,300																																																																											
電源箱	床上~下端	300																																																																											
講 義 室	外部受付用インターホン(子機)	標準図による																																																																											
	壁付インターホン(上記以外)	床上~中心 1,300																																																																											
	壁付押ボタン(多機能トイレ)	”	900																																																																										
	壁付押ボタン(多機能トイレ)床転倒時用	”	300																																																																										
テ レ ビ 共 同 受 信	機器収容箱	天井下~上端 200																																																																											
	テレビ端子	床上~中心 300																																																																											
	”(和室)	”	150																																																																										
火 災 報 知			1,500																																																																										
	受信機・副受信機	床上~操作部	800~1,500																																																																										
	機器収容箱	”	800~1,500																																																																										
ガ ス 検 知	発信機	床上~中心	800~1,500																																																																										
	ベル	天井下~上端	200																																																																										
	表示灯	”	200																																																																										
	ガス漏れ中継器	天井下~中心	300																																																																										
	検知器(都市ガス)	天井下~下端	300																																																																										
	”(LPGガス)	床上~上端	300																																																																										
18 Ⅲ. 機 材	工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。 ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>榎永井電機工業</td> <td>榎平木電機産業</td> </tr> <tr> <td>小林制御電</td> <td>榎富士オートメーション</td> </tr> <tr> <td>勝英産業㈱</td> <td>徳増岡電機製作所</td> </tr> </tbody> </table>	榎永井電機工業	榎平木電機産業	小林制御電	榎富士オートメーション	勝英産業㈱	徳増岡電機製作所																																																																						
榎永井電機工業	榎平木電機産業																																																																												
小林制御電	榎富士オートメーション																																																																												
勝英産業㈱	徳増岡電機製作所																																																																												





付近見取図

— 工事概要 —

以下のキュービクル内部機器(高圧新相コンデンサ)更新を行う。

- ・陸上競技場変圧器盤 ~2台(油入) → ~1台(乾式)
- ・大型映像変電設備 ~1台(乾式)(直列リアクトル共)

※高圧進相コンデンサの更新に伴い、直列リアクトル(L=6%)を追加設置
 ※キュービクル扉面にコンデンサ、リアクトル状態表示を新設
 ※上記に伴うLBSの撤去

作業条件

1. 停電作業は指定日中に作業完了とすることとし、不測の事態においても必ず復電すること。(後日作業を行うものとする)

配置図 S=1/2000

TITLE	ヤマタスポーツパーク受変電設備高圧進相コンデンサ更新工事(2工区)				
DRAWING NAME	配置図、付近見取図				
DATE	2026.03	SCALE	S=1/2000	DRAWING NO	E-03

山根設計
YAMANE
 二級建築士事務所 鳥取県知事登録(05)第2104号
 二級建築士 池谷 美弥子 登録番号 第3166号

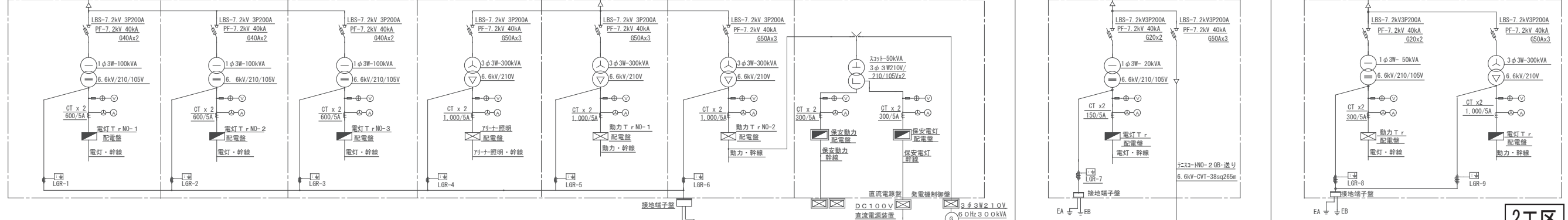


改修前

布勢総合運動公園「県民体育館」高圧配電盤

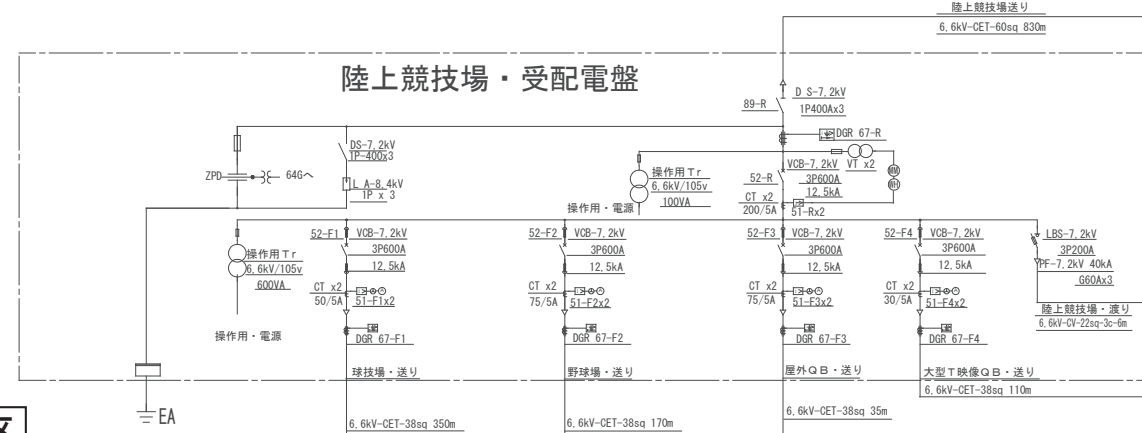


布勢総合運動公園「県民体育館」変圧器盤

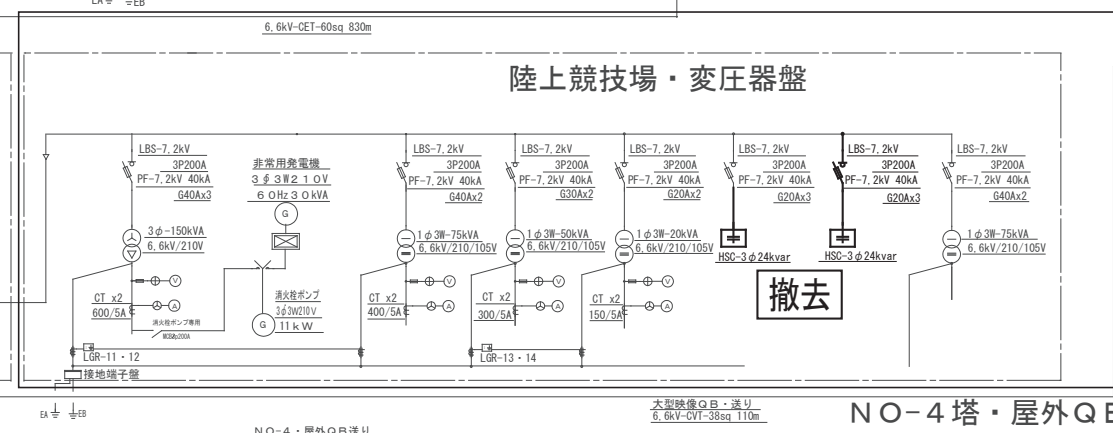


2工区

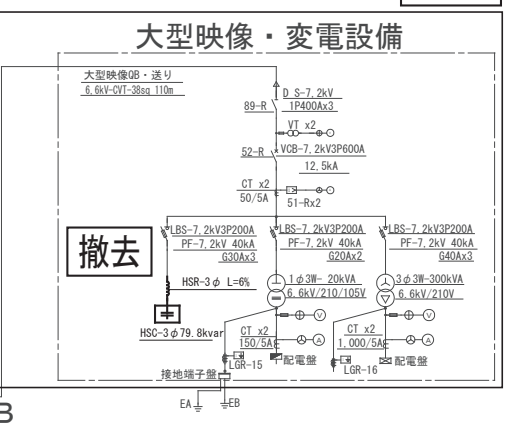
陸上競技場・受配電盤



陸上競技場・変圧器盤

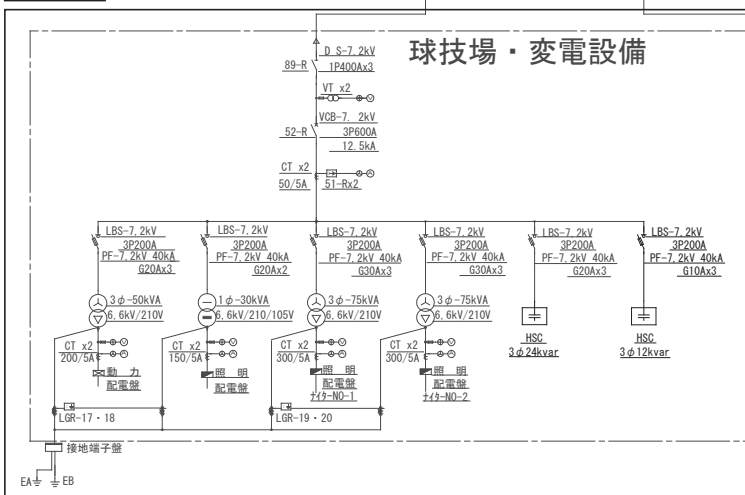


大型映像・変電設備

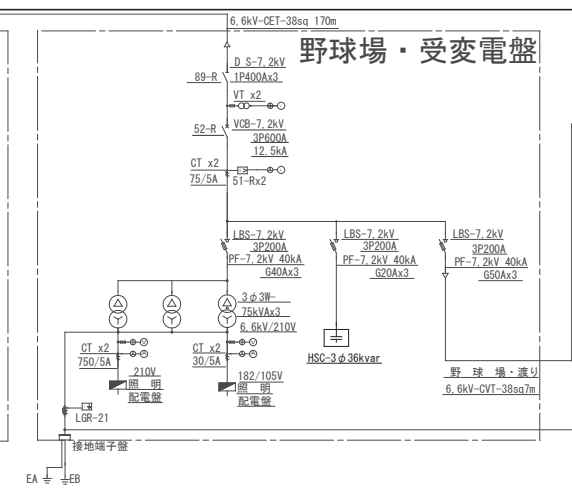


1工区

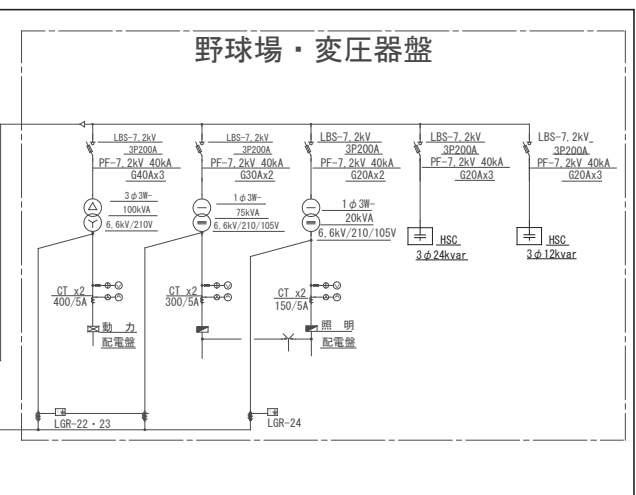
球技場・変電設備



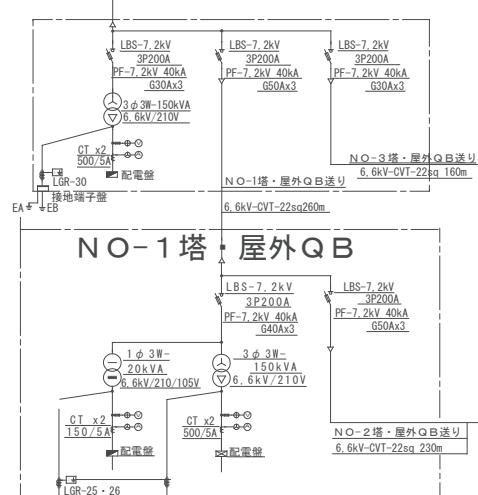
野球場・受変電盤



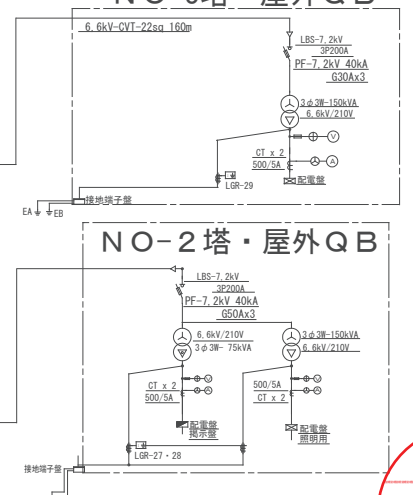
野球場・変圧器盤



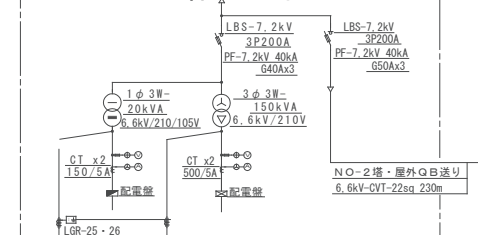
NO-4塔・屋外QB



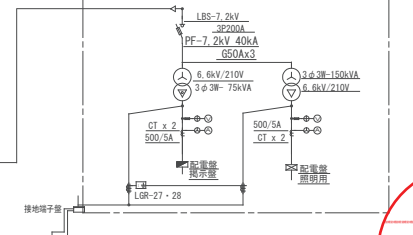
NO-3塔・屋外QB



NO-1塔・屋外QB



NO-2塔・屋外QB



ヤマタスポーツパーク 高圧配電系統図

※太線部分を撤去とする。

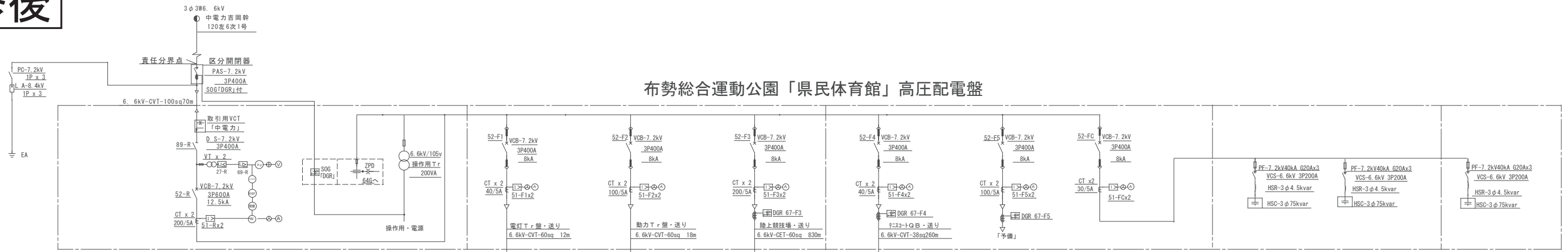
TITLE	ヤマタスポーツパーク受変電設備高圧進相コンデンサ更新工事(2工区)			
DRAWING NAME	【改修前】受変電設備 高圧配電系統図			
DATE	2026.03	SCALE	S=1/NS	DRAWING NO
				E-04

山根設計
 山根設計事務所 鳥取県知事登録(30)第2104号
 二級建築士 池谷 美弥子 登録番号 第3166号

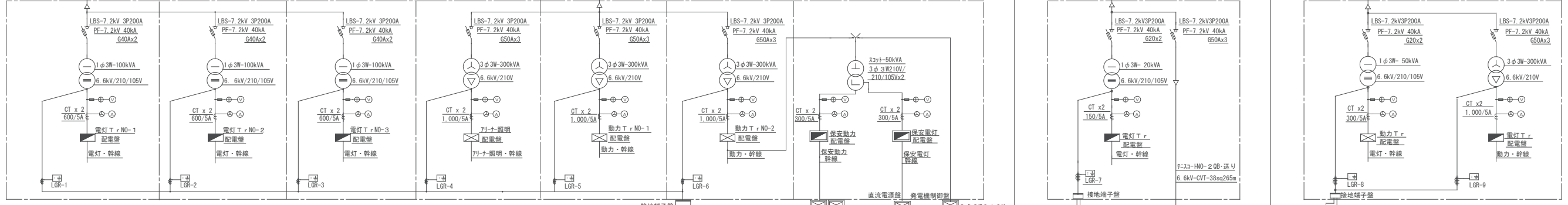
鳥取県
 令和7年度
 J2501728
 東部建築住宅
 事務所

改修後

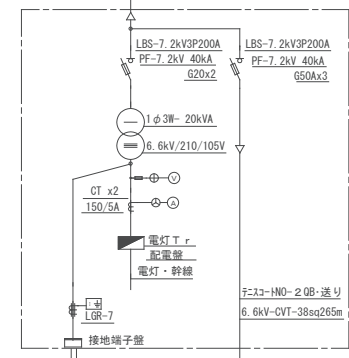
布勢総合運動公園「県民体育館」高压配電盤



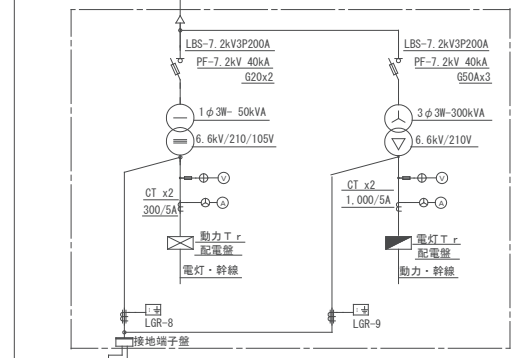
布勢総合運動公園「県民体育館」変圧器盤



テニスコートNO-1・QB

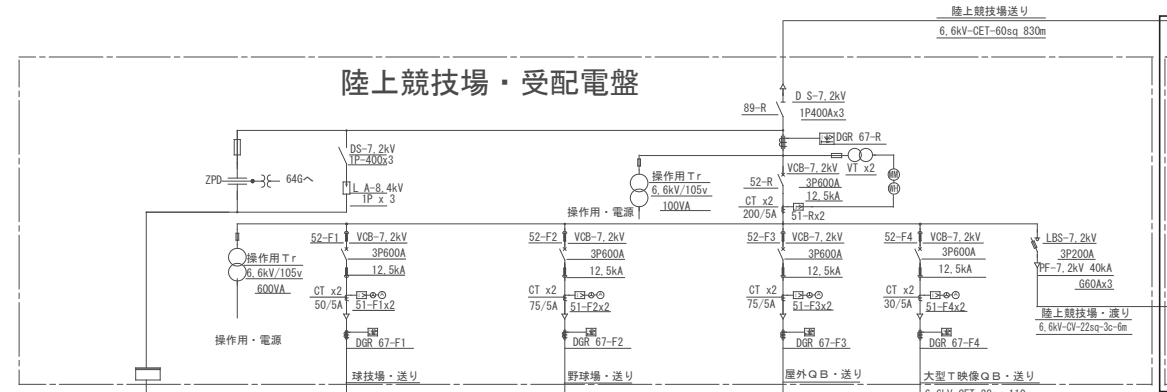


テニスコートNO-2・QB

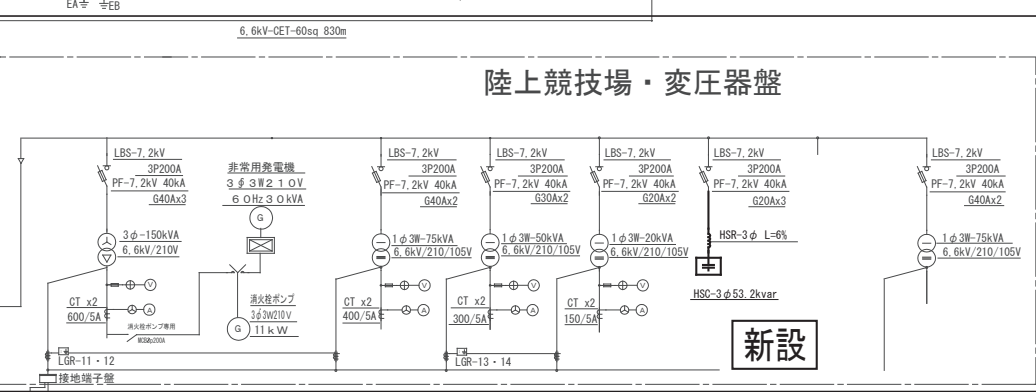


2工区

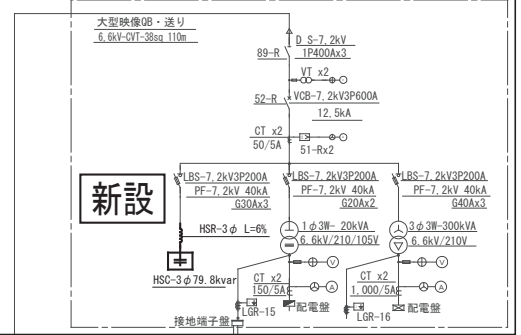
陸上競技場・受配電盤



陸上競技場・変圧器盤

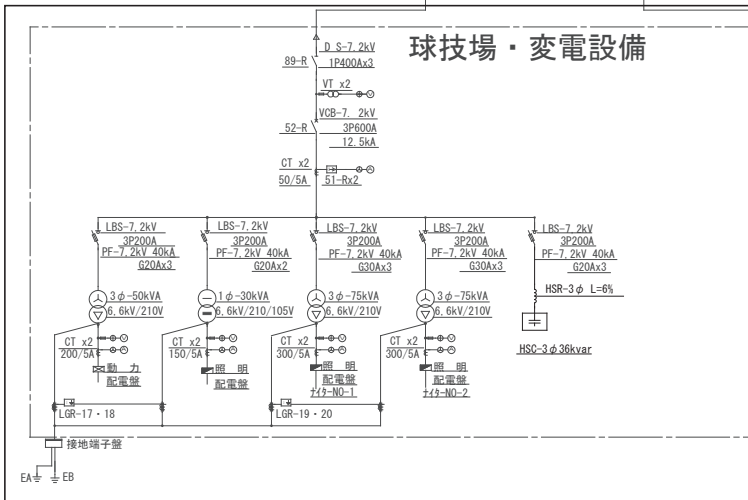


大型映像・変電設備

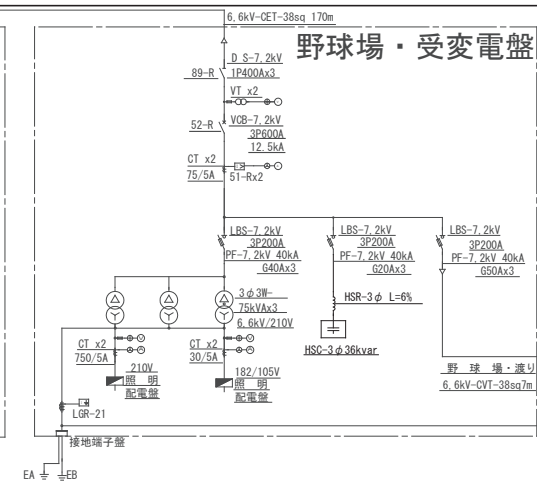


1工区

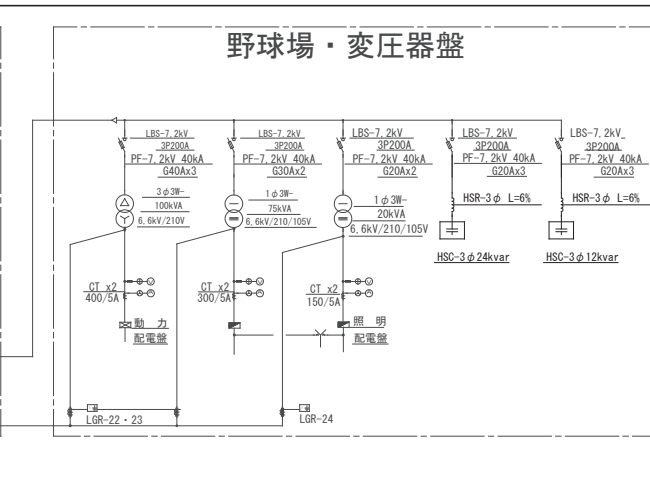
球技場・変電設備



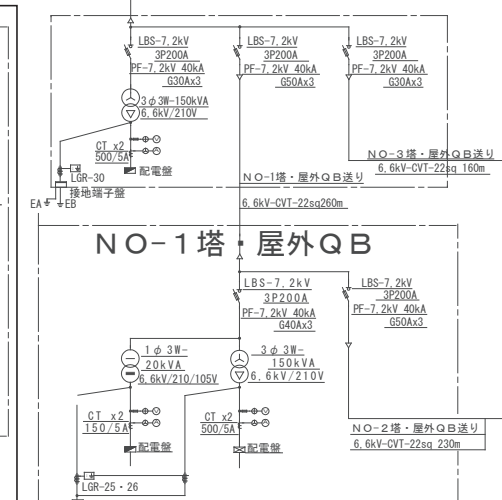
野球場・受変電盤



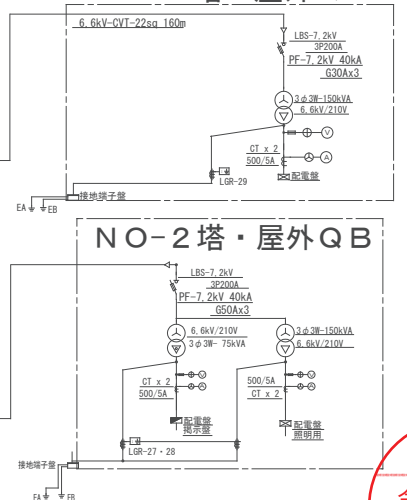
野球場・変圧器盤



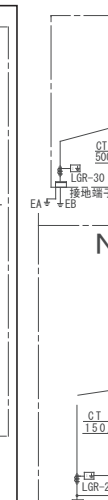
NO-4塔・屋外QB



NO-3塔・屋外QB



NO-1塔・屋外QB



NO-2塔・屋外QB



ヤマタスポーツパーク 高压配電系統図

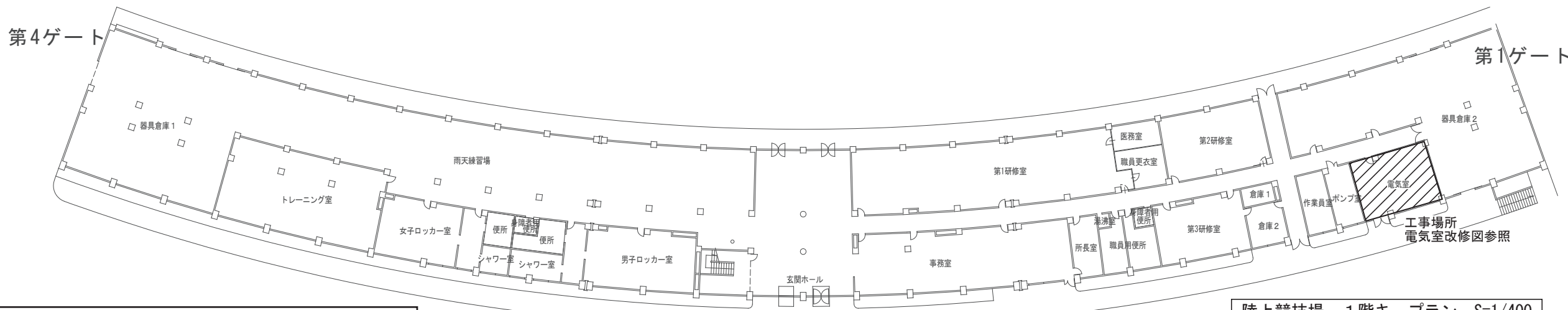
※太線部分を新設とする。

TITLE	ヤマタスポーツパーク受変電設備高圧進相コンデンサ更新工事(2工区)
DRAWING NAME	【改修後】受変電設備 高压配電系統図
DATE	2026.03
SCALE	S=1/NS
DRAWING NO	E-05

山根設計
 山根設計事務所
 〒210-0840 千葉県市川市...
 〒210-0840 千葉県市川市...
 〒210-0840 千葉県市川市...

鳥取県
 令和7年度
 J2501728
 東部建築住宅
 事務所

改修前後

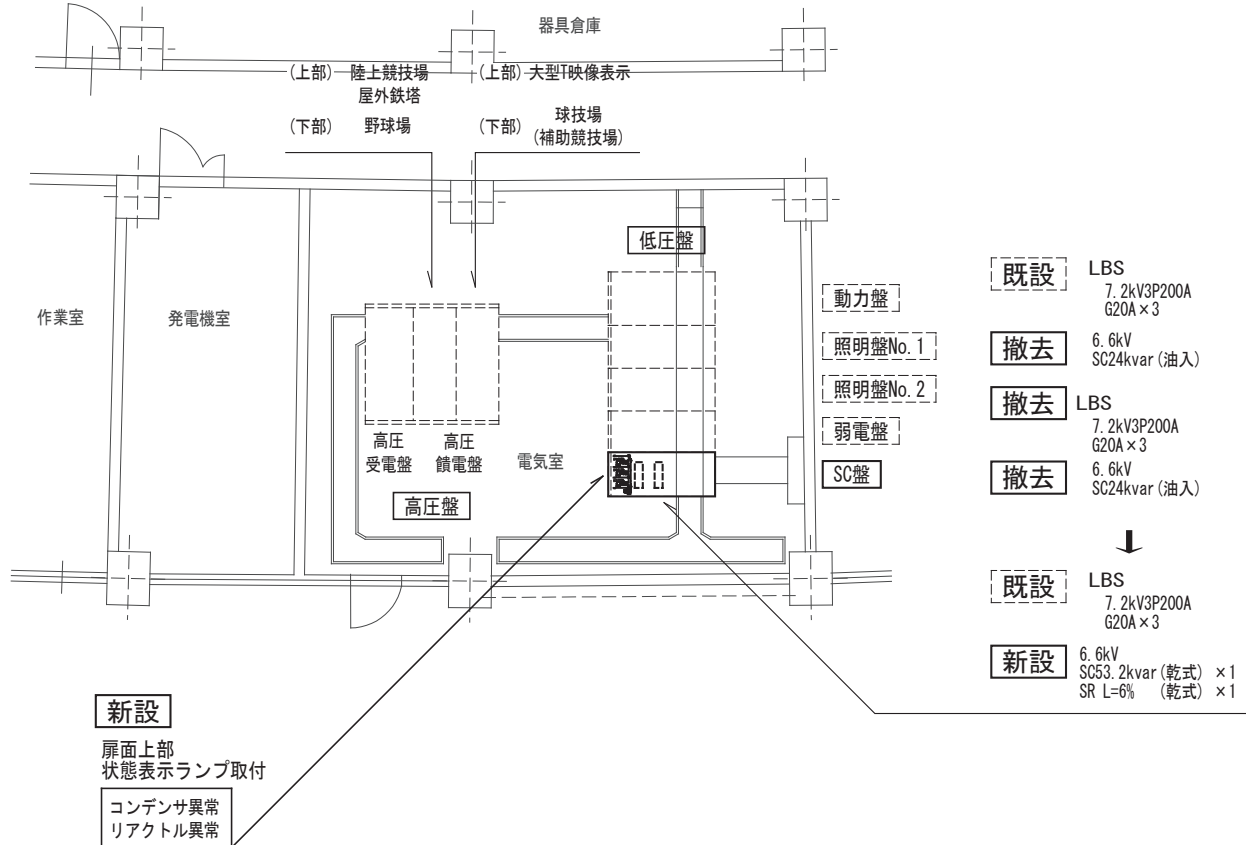


陸上競技場 受変電設備 キュービクル改修図

陸上競技場 1階キープラン S=1/400

【特記事項】

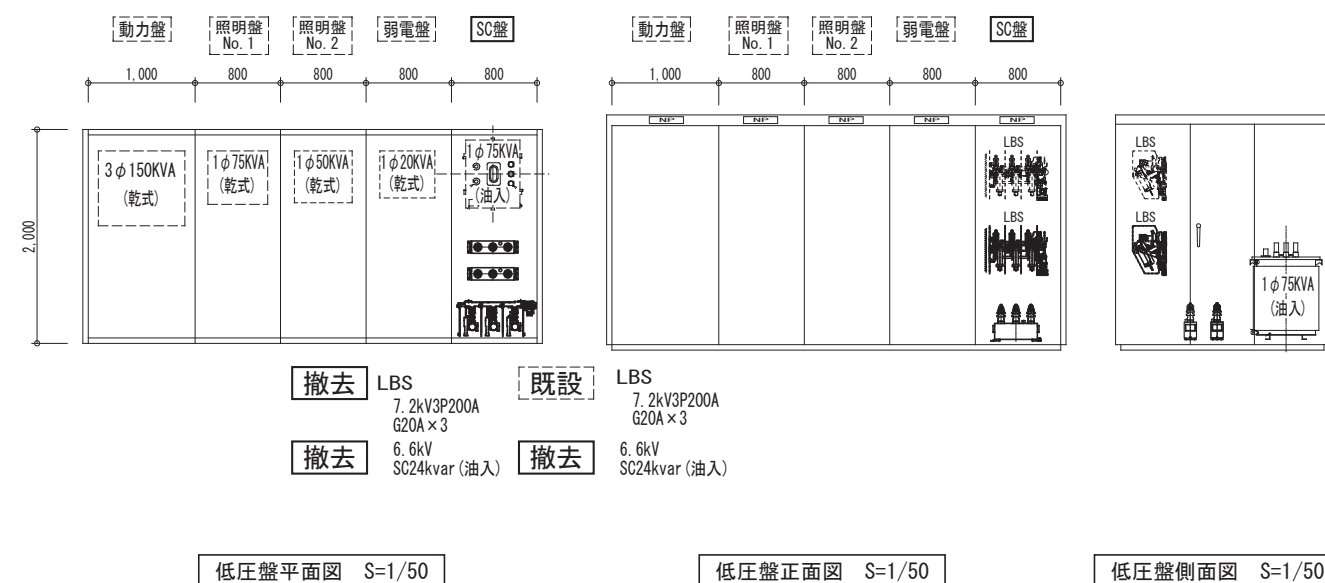
1. 図中太線を本工事とし、細線・破線は既設のままとする。
2. 施工の際は、停電作業日程を施設と調整を行うこと。
3. 施工の際は、事前に機器設置スペース等確認すること。



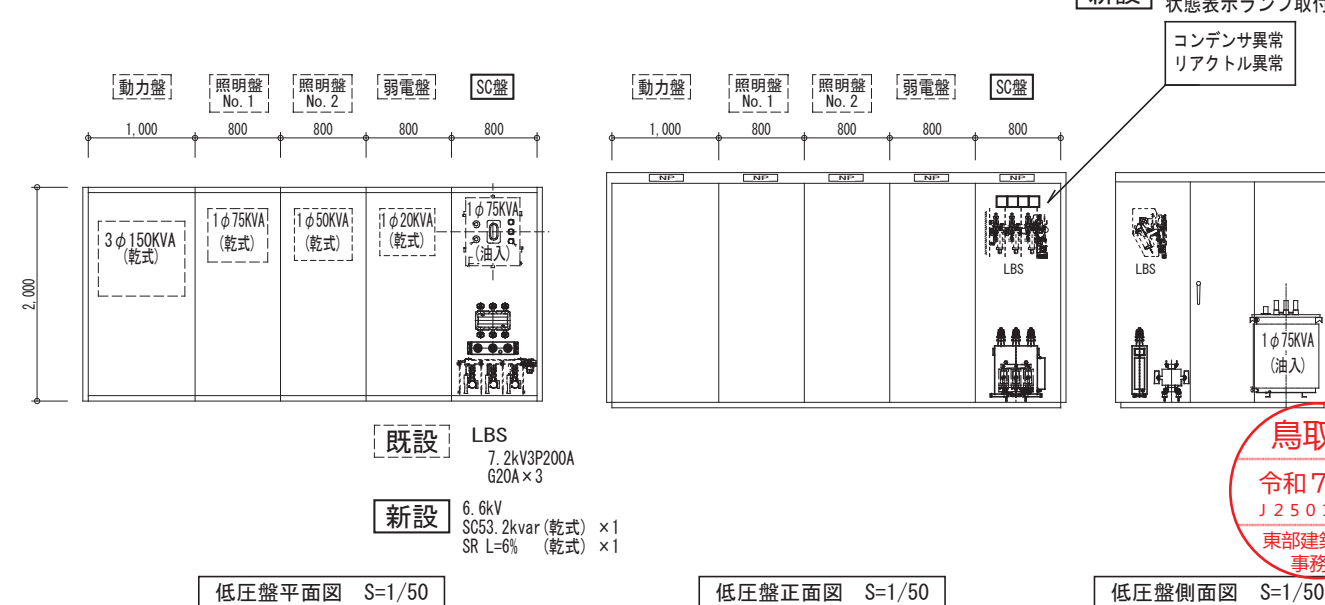
電気室 改修図 S=1/100

キュービクル改修図

改修前



改修後



鳥取県
 令和7年度
 J2501728
 東部建築住宅
 事務所

改修前後

大型映像 受変電設備 キュービクル改修図

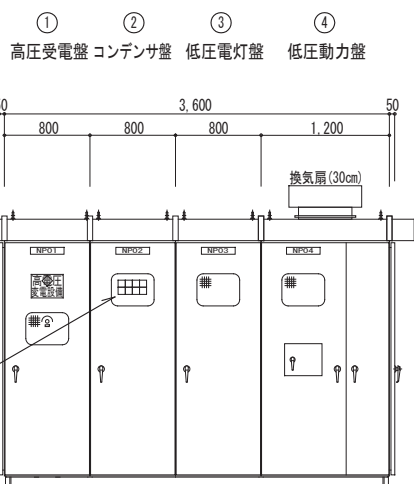
【特記事項】

1. 図中太線を本工事とし、細線・破線は既設のままとする。
2. 施工の際は、停電作業日程を施設と調整を行うこと。
3. 施工の際は、事前に機器設置スペース等確認すること。

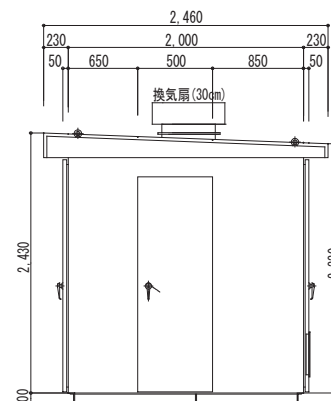
【既設】

品名	現場盤
52-VIS	○
51-VIS	●
LBS-VISC	●
LBS-VIS1	●
LBS-VIS2	●
51GL-VIS1, VIS2	○ x2
コンデンサ異常	●
リアクトル異常	○

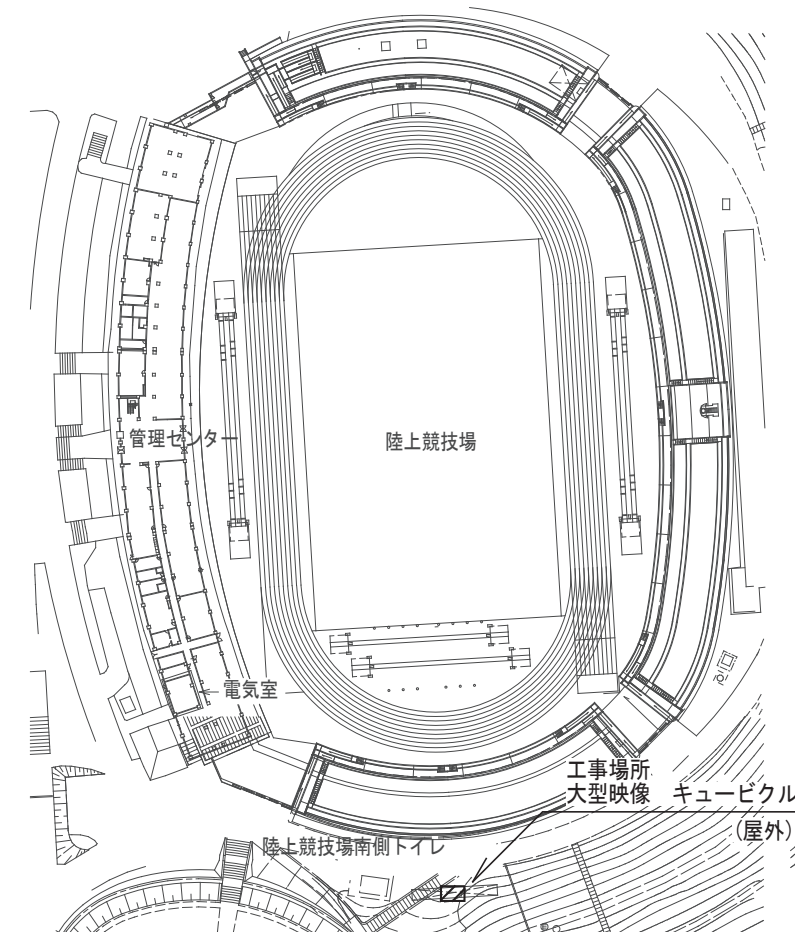
- 状態表示
 - 故障表示
- ※一括異常外部信号用接点 X 2



正面図 S=1/50



側面図 S=1/50



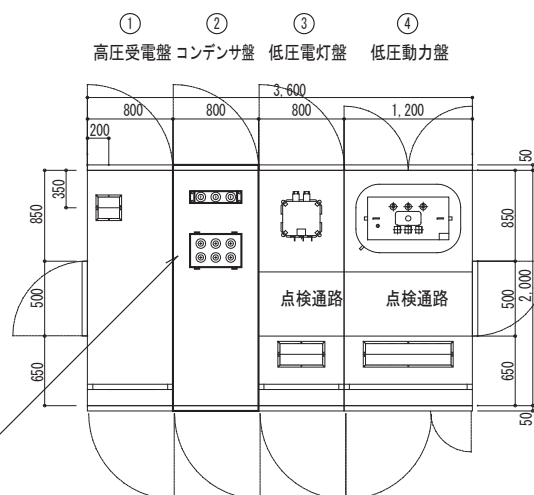
大型映像キュービクル キープラン S=1/1500

撤去

- 高圧コンデンサ
- 高圧リアクトル
- 6.6kV SC79.8kvar(乾式ガス) × 1
- SR L=6%(乾式) × 1

新設

- 高圧コンデンサ
- 高圧リアクトル
- 6.6kV SC79.8kvar(乾式ガス) × 1
- SR L=6%(乾式) × 1



平面図 S=1/50

屋外キュービクル 参考姿図

※寸法は参考とする

屋外防雨型

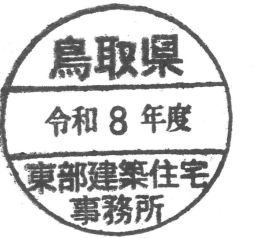
鋼板仕様

箱体板厚	2.3t
扉板厚	3.2t
チャンネルベース	C-100-50-t5

垂鉛下地処理(指定色焼付塗装仕上げ)

八頭庁舎高圧気中開閉器更新工事

図面番号	図面名称	縮尺
E-01	図面リスト	NO SCALE
E-02	電気設備工事特記仕様書(1)	NO SCALE
E-03	電気設備工事特記仕様書(2)	NO SCALE
E-04	附近見取図、全体配置図、構内配電線路図、既設引込柱 参考装柱図	S=1:400, 1:100
E-05	受変電設備単線結線図、整結線図	NO SCALE






鳥取県	工事名称	八頭庁舎高圧気中開閉器更新工事	SCALE	DATE	東部建築住宅事務所	所長	参事	次長	係長	合議	担当	年度	図面No.
	図名	図面リスト	NS	R8.4								R8	E-01

埋蔵文化財センター展示室照明設備改修工事

図面番号	図面名称	縮尺
E-00	図面リスト	S=1/NS
E-01	電気設備工事特記仕様書(1)	S=1/NS
E-02	電気設備工事特記仕様書(2)	S=1/NS
E-03	配置図、付近見取図	S=1/400
E-04	電灯設備 本館 1階改修図	S=1/100,200



TITLE	埋蔵文化財センター展示室照明設備改修工事				 山根設計	二級建築士事務所 鳥取県知事登録(05)第2104号 二級建築士 池谷 美弥子 登録番号 第3166号	 
DRAWING NAME	図面リスト						
DATE	2026.03	SCALE	S=1/NS	DRAWING NO	E-00		

電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 鳥取市国府町宮下

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	埋蔵文化財センター	RC	2F	1,183.06	(7) 項	改修
2					() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工事種目 (●印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
●電灯設備		○						
●動力設備								
●電熱設備								
●雷保護設備								
●受変電設備								
●電力貯蔵設備								
●発電設備								
●構内情報通信網設備								
●構内交換設備								
●情報表示設備								
●映像・音響設備								
●拡声設備								
●誘導支援設備								
●テレビ共同受信設備								
●監視カメラ設備								
●駐車場管制設備								
●防犯・入退室管理設備								
●火災報知設備								
●中央監視制御設備								
●医療関係設備								
●構内配電線路								
●構内通信線路								
●テレビ電波障害防除設備								
●機械設備工事								
●建築工事								

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

●の付いたものを適用する。

項目	特記事項
電灯設備	●電氣方式 ●非常用照明器具 ●誘導灯
動力設備	●電氣方式
雷保護設備	●受雷部 ●避雷導線 ●接地極
受変電設備	●電氣方式 ●契約電力 ●設備方式 ●機器類

項目	特記事項
電力施設設備	●直流電源装置 ●交流無停電電源装置(UPS)
発電設備	●自家発電装置 ●太陽光発電装置 ●風力発電装置
通信情報設備	●構内情報通信網設備 ●構内交換設備 ●情報表示設備 ●映像・音響設備 ●拡声設備 ●誘導支援設備 ●テレビ共同受信設備 ●監視カメラ設備 ●駐車場管制設備 ●防犯・入退室管理設備 ●自動火災報知設備 ●自動閉鎖設備 ●非常警報設備 ●ガス漏れ火災警報設備
中央監視設備	●形式 ●監視制御対象設備 ●伝送方式
構内配電線路	●電氣方式 ●施工方法 ●外灯点滅方式
構内通信線路	●用途 ●施工方法
テレビ電波障害防除設備	●対策方法 ●責任分界点

II. 特記仕様

1 一般事項

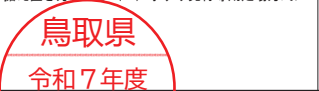
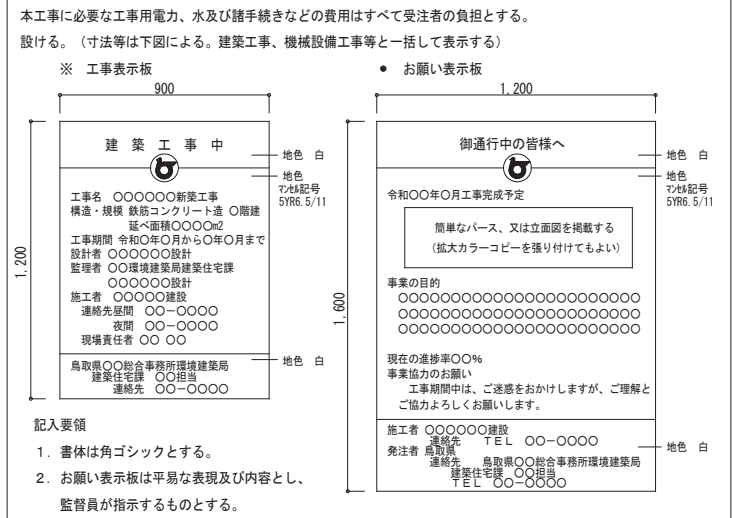
- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち、●印の付いたものによる。
 - 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準仕様書」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「改修標準仕様書」という。)
 - 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準図」という。)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。
- 機械設備工事及び建築工事を本工事にも含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

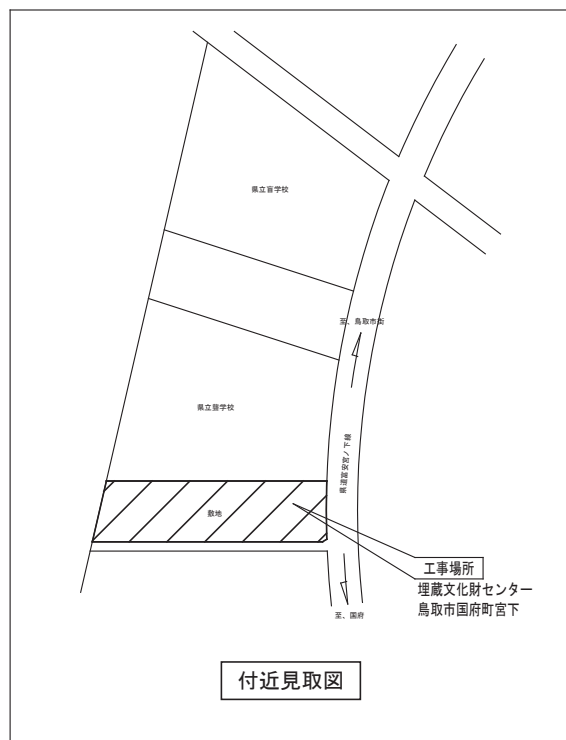
- 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は●の付いたものを適用する。
 - の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。●と※の付いた場合は共に適用する。
- 一般共通事項のうち(1, 2, 4, 8, 9, 11, 12, 13, 14, 15, 35)項は、●建築 ●機械設備 工事特記仕様書による。

項目	特記事項
①官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
②電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。 なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。
③電気工事士	契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。
4 工事安全計画等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。
⑤発生材の分析及び処理	引渡しを要するもの ※無し ●有り 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※無し ●有り ●本工事において調査を行う (●PCB使用機器 ●アスベスト含有設備資機材(●配線用遮断機 ●)) PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※無し ●有り

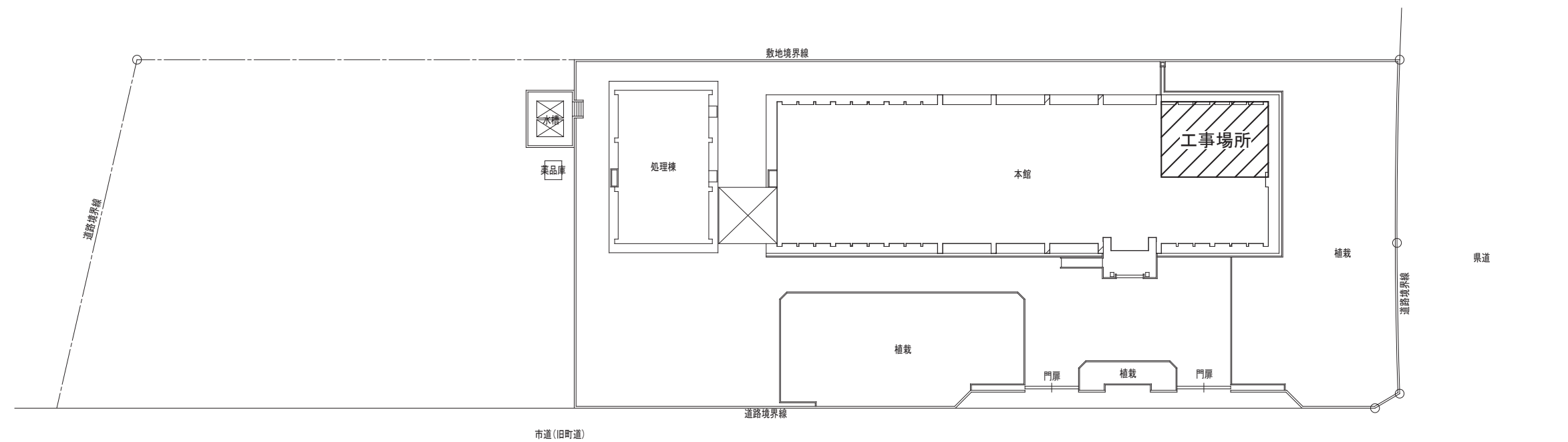
⑥ 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ. 機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。 なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。 使用する機材がⅢ. 機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。提出した施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを提出する。															
⑦ 機材の品質・性能証明																
⑧ 施工図等																
⑨ 完成写真等																
⑩ 完成図等																
11 他工事との取合い	次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>分類・規格</th><th>撮影箇所</th><th>部数</th><th>電子データの提出</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事写真</td><td>カラーサービス判</td><td>各工種工程毎</td><td>※1部 ●部</td><td>●要 ●不要</td></tr><tr><td>完成写真</td><td>カラーサービス判</td><td>監督職員の指示による</td><td>※2部 ●部</td><td>●要 ●不要</td></tr></tbody></table>	区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出	工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※1部 ●部	●要 ●不要	完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※2部 ●部	●要 ●不要
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出												
工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※1部 ●部	●要 ●不要												
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※2部 ●部	●要 ●不要												
12 工所用電力・水・その他	本工事に必要な工所用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。設ける。(寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一緒に表示する) ※ 工事表示板 ● お願ひ表示板															
13 表示板																
14 足場																



<p>一般共通事項</p> <p>15 工事用仮設物</p> <p>16 土工事</p> <p>17 電線類</p> <p>18 電線本数・管径等</p> <p>19 屋外露出配管の仕上げ</p> <p>20 露出配管の塗装（付属品含む）</p> <p>21 波付硬質合成樹脂管（FEP）</p> <p>22 フラッシュプレートの材質</p> <p>23 カバープレートの表示</p> <p>24 丸ボックスの塗装</p> <p>25 耐震施工</p> <p>26 接地極</p> <p>27 屋上、屋側の支持金物等</p> <p>28 結露防止</p> <p>29 アスベスト含有建材の処理</p>	<p>構内につくることが ※ できる ● できない</p> <p>埋め戻し土 ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類 () ● 真砂土 ()</p> <p>建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積</p> <p>本工事で環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。</p> <p>EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。</p> <p>通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。</p> <p>盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。</p> <p>ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。</p> <p>分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。</p> <p>屋外露出配管（厚鋼電線管）で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ【めっき付着量 300g/m²以上】とする。</p> <p>塗装する部分 ● 屋上 ● 屋側 ● 屋外 ● 廊下 ● 機械室 ● 居室 () ●</p> <p>波付硬質合成樹脂管（FEP）を使用する場合は不燃又は難燃性とする。</p> <p>● 金属製（ステンレス、新金属も含む） ● 樹脂製</p> <p>シール等を貼付し、用途を表示する。</p> <p>ステンレス製丸ボックスの塗装 ※ 無（素地仕上） ● 有（指定色仕上）</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。</p> <p>1) 機器の据付け及び取付け</p> <p>設計用水平地震力は、機器重量[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平地震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <tr> <td>設計用標準水平地震度</td> <td>● 特定の施設</td> <td>● 一般の施設</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>重要機器</td> <td>一般機器</td> </tr> <tr> <td>上層階</td> <td>機器</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>屋上及び塔屋</td> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>機器</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水 槽 類</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>地下及び1階</td> <td>機器</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>防振支持の機器</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水 槽 類</td> <td>0.6</td> </tr> </table> <p>上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階 中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの 水槽類には燃料小出槽を含む</p> <p>重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)</p> <p>2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（一財）日本建築センター）を参考にする。</p> <p>接地極の材料は次による。</p> <table border="1"> <tr> <th>接地の種類</th> <th>記号</th> <th>接地抵抗値</th> <th>接 地 極</th> </tr> <tr> <td>● 共同接地</td> <td>EAED</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連—2組</td> </tr> <tr> <td>● 共同接地</td> <td>EAECED</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連—2組</td> </tr> <tr> <td>● A種</td> <td>EA</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連—2組</td> </tr> <tr> <td>● B種</td> <td>EB</td> <td>Ω以下</td> <td>EB×2連—2組</td> </tr> <tr> <td>● C種</td> <td>EC</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連—2組</td> </tr> <tr> <td>● D種</td> <td>ED</td> <td>100Ω以下</td> <td>EB×1</td> </tr> <tr> <td>● 高圧避雷器</td> <td>ELH</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連—2組</td> </tr> <tr> <td>● 交換機用</td> <td>Et</td> <td>Ω以下</td> <td>EB×3連—1組</td> </tr> <tr> <td>● 通信用</td> <td>EAt</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連—2組</td> </tr> <tr> <td>● 通信用</td> <td>EDt及びEda</td> <td>100Ω以下</td> <td>EB×1</td> </tr> <tr> <td>● 電話引込口の保安器用</td> <td>ELt</td> <td>100Ω以下</td> <td>EB×1</td> </tr> <tr> <td>● 測定用</td> <td>EO</td> <td>—</td> <td>EB×1</td> </tr> </table> <p>(連結の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする) (ED, EDt, Eda, ELt, EOの場合、EBはD=10 L=1000 または W=30 L=900 以上とする) (その他単独の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)</p> <p>ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。</p> <p>外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。</p> <p>公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、同仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <p>● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。</p> <p>分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</p> <p>● アスベスト粉じん濃度測定を行う。</p> <p>(測定時期： 測定場所： 測定点：)</p> <p>● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。</p> <p>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。</p> <p>対象箇所 ()</p>	設計用標準水平地震度	● 特定の施設	● 一般の施設	設置場所	重要機器	一般機器	上層階	機器	1.5	屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0		水 槽 類	1.5	中間階	機器	1.0		防振支持の機器	1.5		水 槽 類	1.0	地下及び1階	機器	0.6		防振支持の機器	1.0		水 槽 類	0.6	接地の種類	記号	接地抵抗値	接 地 極	● 共同接地	EAED	10Ω以下	EB×3連—2組	● 共同接地	EAECED	10Ω以下	EB×3連—2組	● A種	EA	10Ω以下	EB×3連—2組	● B種	EB	Ω以下	EB×2連—2組	● C種	EC	10Ω以下	EB×3連—2組	● D種	ED	100Ω以下	EB×1	● 高圧避雷器	ELH	10Ω以下	EB×3連—2組	● 交換機用	Et	Ω以下	EB×3連—1組	● 通信用	EAt	10Ω以下	EB×3連—2組	● 通信用	EDt及びEda	100Ω以下	EB×1	● 電話引込口の保安器用	ELt	100Ω以下	EB×1	● 測定用	EO	—	EB×1	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲							<p>1) 補修など</p> <p>31 はつり</p> <p>32 はつり工事における非破壊検査</p> <p>33 あと施工アンカー</p> <p>34 室内空気中の化学物質の濃度測定</p> <p>35 火災保険等</p> <p>36 鳥取県公共事業環境配慮指針</p> <p>37 建築物省エネ法</p> <p>1) 照明器具</p> <p>2) 一般照明の照度測定</p> <p>3 非常用照明の照度測定</p> <p>4 照明制御の照度測定等</p> <p>1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。</p> <p>LEDの光源色 (● 屋白色 ● 温白色 ● 電球色)</p> <p>測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。)</p> <p>※ 設置した各階層2箇所以上 ●</p> <p>明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。</p> <p>照度測定時期 100%点灯時 (● 夜間 ● 昼間)</p> <p>調光制御点灯時 (● 夜間 ● 昼間)</p> <p>1 機器への接続</p> <p>● 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事</p> <p>1 大地抵抗率の測定</p> <p>● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。</p> <p>● 構造体利用接地極 ● A型接地極 ● B型接地極</p> <p>1 変圧器移動車輪</p> <p>2 デマンド監視装置</p> <p>3 室内照明</p> <p>75kVA以上に取付。</p> <p>● 本工事 ● 別途工事</p> <p>前・後に設置する。</p> <p>1 文法無停電電源装置(UPS)</p> <p>停電補償時間 (分)</p> <p>方式 (● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式)</p> <p>1 自家発電装置</p> <p>● ティーゼル発電装置</p> <p>● ガスエンジン発電装置</p> <p>● ガスタービン発電装置</p> <p>● 熱併給発電装置</p> <p>● 燃料電池発電装置</p> <p>運転時間 (h)</p> <p>系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)</p> <p>出力 (kW) 配電盤外箱 (● 有 ● 無)</p> <p>保安装置 (重故障項目特記 ● 有 ● 無) 外部用端子 (● 要 ● 不要)</p> <p>減圧水槽及び初期注水槽の材質 (● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製)</p> <p>オイルタンク (● 地下 ● 屋内)</p> <p>据付：機械設備工事標準図 (● 施工30、32 (タンク室無し) ● 施工31、33 (タンク室有り))</p> <p>燃料小出槽 (%) 返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過接続点とする。</p> <p>材質 (● 鋼板製 ● ステンレス製)</p> <p>燃料油等 (● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス ())</p> <p>排気系統配管断熱材の厚さ (mm) ばい煙測定口 (● 設ける ● 設けない)</p> <p>排気ガスに含まれる窒素酸化物 (以下) 運転音 (dB以下)</p> <p>EB×3連—2組</p> <p>系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)</p> <p>公称最大出力 (kW) 耐風速 (m/s)</p> <p>パワーコンディショナ (相 線式 V) 定格容量 (kW)</p> <p>自立運転機能 (● 有 ● 無)</p> <p>表示装置 (● 有 ● 無) 方式 (※ 液晶 ●)</p> <p>系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 定格出力 (kW)</p> <p>1 交換装置</p> <p>局線応答方式 (● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式)</p> <p>停電補償時間 (分)</p> <p>※ 本工事 ● 別途工事</p> <p>※ モジュラージャック ● 電話用プレート</p> <p>内線 / / 回線 局線 / / 回線 (現用/実装/容量)</p> <p>● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台</p> <p>● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台</p> <p>卓上電話機1台につき次のものを見込む。</p> <p>● ボタン電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●)</p> <p>● 内線電話機 (● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C) (※ 15m ●)</p> <p>● 多機能電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●)</p> <p>● IP電話機 (● EM-UTP 0.5-4P ●) (※ 15m ●)</p> <p>1 マルチサイン装置</p> <p>2 出退表示装置</p> <p>3 時刻表示装置</p> <p>イメージスキャナ (● 設ける ● 設けない)</p> <p>制御装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形)</p> <p>呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)</p> <p>親時計 (● 壁掛形 回線 ● ラック形 回線)</p> <p>太陽電池式屋外時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)</p> <p>1 プロジェクタ</p> <p>光出力 (● I形 ● II形 ● III形) 解像度 (● A形 ● B形 ● C形)</p> <p>コントラスト比 (● X形 ● Y形)</p>	<p>10 増幅器</p> <p>形式 (● 卓上形 ● ラック形) 定格出力 (W) 性能 (● Hi形 ● Lo形)</p> <p>● 増幅器の入出力配線と外部配管 (壁ボックス等) の接続はコネクタによる。</p> <p>11 音声誘導装置</p> <p>検出方式 (● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式)</p> <p>12 火災報知設備</p> <p>1 自動火災報知設備</p> <p>2 自動閉鎖設備</p> <p>3 ガス漏れ火災警報設備</p> <p>受信機 (● 型 級 回線 (蓄積型) ● 複合形 ● 単独形)</p> <p>● 防火戸用 (※ ラッチ式 ● 電磁式)</p> <p>● 防煙ダンパー用 (※ 電動復帰 ● 手動復帰)</p> <p>● 防火シャッター用 (※ 別途工事 ● 本工事)</p> <p>検知器 (● 天井取付形 ● 壁取付形)</p> <p>1 施工方法</p> <p>2 地中箱</p> <p>3 高圧負荷開閉器</p> <p>4 高圧ケーブルの端末部</p> <p>5 高圧ケーブルの屋外端未処理</p> <p>6 保護シート</p> <p>7 照明用ポール</p> <p>埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。</p> <p>● GL-600以上 (● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ●)</p> <p>蓋の記号表示は鑄型流込み (鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入) とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。</p> <p>● 閉鎖形 (● 軽耐圧形 ● 重耐圧形) ● 地絡継電器付 (※ 方向性 ● 無方向性)</p> <p>● 避雷器内蔵</p> <p>※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。</p> <p>高圧ケーブルの高端部にシーシの締め対策 (熱伸縮テープによるシーシずれ止め対策等) を行う。</p> <p>● 一般形 ● 耐圧形</p> <p>※ 高圧 ● 低圧</p> <p>照明用ポールには配線用遮断器 (トリップ機能なし) 又はカットアウトスイッチ (素通しヒューズ) を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。</p> <p>1 施工方法</p> <p>2 地中箱</p> <p>3 保護シート</p> <p>埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。</p> <p>● GL-600以上 (●)</p> <p>蓋の記号表示は鑄型流込み (鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入) とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。</p> <p>● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●</p> <p>1 調査仕様</p> <p>2 テレビ電波受信障害調査時期</p> <p>3 受信する受信波及び地点数</p> <p>4 報告書提出部数</p> <p>図面に記載されていない事項は、すべて (一社) 日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領 (地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。</p> <p>※ 事前 ● 中間 ※ 事後</p> <p>中継局 波： 地点</p> <p>中継局 波： 地点</p> <p>※ 事前 3部 ● 中間 部 ※ 事後 3部</p> <p>1) 機器取付高</p> <p>機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。</p> <table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>測 点</th> <th>取付高 (mm)</th> </tr> <tr> <td>電力共通</td> <td>取引用計器</td> <td>地上～窓中心 1,800～2,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>引込開閉器</td> <td>地上～中心 1,800～2,200</td> </tr> <tr> <td>電</td> <td>分電盤・OA盤・実験盤</td> <td>床上～中心 1,500 (上端1,900以下)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スイッチ</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>” (多機能トイレ)</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンセント (一般)</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>” (和室)</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td></td> <td>” (台上)</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td></td> <td>” (土間)</td> <td>800～1,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>” (車椅子用)</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>灯</td> <td>ブラケット (一般)</td> <td>2,100～2,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>” (踊場)</td> <td>2,000～2,500</td> </tr> <tr> <td></td> <td>” (鏡上)</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>動</td> <td>壁掛形制御盤</td> <td>床上～中心 1,500 (上端1,900以下)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>手元開閉器</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作スイッチ</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>構</td> <td>端子盤</td> <td>床上～下端 300</td> </tr> <tr> <td>換</td> <td>保安器箱</td> <td>天井下～上端 200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁付アウトレット</td> <td>床上～中心 300</td> </tr> <tr> <td></td> <td>” (和室)</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>電</td> <td>壁掛形親時計</td> <td>床上～中心 1,500 (上限1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>気</td> <td>子時計</td> <td>天井高×0.9</td> </tr> <tr> <td>時</td> <td>壁掛形スピーカ</td> <td>床上～中心 天井高×0.9</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>壁付アッテネータ</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>拡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>声</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2 工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。</p>	名 称	測 点	取付高 (mm)	電力共通	取引用計器	地上～窓中心 1,800～2,000		引込開閉器	地上～中心 1,800～2,200	電	分電盤・OA盤・実験盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)		スイッチ	1,300		” (多機能トイレ)	1,100		コンセント (一般)	300		” (和室)	150		” (台上)	150		” (土間)	800～1,300		” (車椅子用)	900	灯	ブラケット (一般)	2,100～2,300		” (踊場)	2,000～2,500		” (鏡上)	150	動	壁掛形制御盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)		手元開閉器	1,500		操作スイッチ	1,300	構	端子盤	床上～下端 300	換	保安器箱	天井下～上端 200		壁付アウトレット	床上～中心 300		” (和室)	150	電	壁掛形親時計	床上～中心 1,500 (上限1,900以下)	気	子時計	天井高×0.9	時	壁掛形スピーカ	床上～中心 天井高×0.9	計	壁付アッテネータ	1,300	拡			声			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>測 点</th> <th>取付高 (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">表 示</td> <td>表示盤</td> <td>床上～中心 天井高×0.9</td> </tr> <tr> <td>壁付発信器</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>ベル、ブザー、チャイム</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>受付押ボタン (一般)</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>電源箱</td> <td>床上～下端 300</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">誘 導 支 撐</td> <td>外壁受付用インターホン(子機)</td> <td>標準図による</td> </tr> <tr> <td>壁付インターホン(上記以外)</td> <td>床上～中心 1,300</td> </tr> <tr> <td>壁付押ボタン(多機能トイレ)</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>壁付押ボタン(多機能トイレ) 床転倒時用</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">テ レ ビ 共 同 受 信</td> <td>機器収容箱</td> <td>天井下～上端 200</td> </tr> <tr> <td>テレビ端子</td> <td>床上～中心 300</td> </tr> <tr> <td>” (和室)</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">火 災 報 知</td> <td></td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>受信機・副受信機</td> <td>床上～操作部 800～1,500</td> </tr> <tr> <td>機器収容箱</td> <td>800～1,500</td> </tr> <tr> <td>発信機</td> <td>床上～中心 800～1,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ガ ス</td> <td>ベル</td> <td>天井下～上端 200</td> </tr> <tr> <td>表示灯</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">検 査</td> <td>ガス漏れ中継器</td> <td>天井下～中心 300</td> </tr> <tr> <td>検知器 (都市ガス)</td> <td>天井下～下端 300</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">知</td> <td>” (LPガス)</td> <td>床上～上端 300</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名 称	測 点	取付高 (mm)	表 示	表示盤	床上～中心 天井高×0.9	壁付発信器	1,300	ベル、ブザー、チャイム	2,300	受付押ボタン (一般)	1,300	電源箱	床上～下端 300	誘 導 支 撐	外壁受付用インターホン(子機)	標準図による	壁付インターホン(上記以外)	床上～中心 1,300	壁付押ボタン(多機能トイレ)	900	壁付押ボタン(多機能トイレ) 床転倒時用	300			テ レ ビ 共 同 受 信	機器収容箱	天井下～上端 200	テレビ端子	床上～中心 300	” (和室)	150	火 災 報 知		1,500	受信機・副受信機	床上～操作部 800～1,500	機器収容箱	800～1,500	発信機	床上～中心 800～1,500	ガ ス	ベル	天井下～上端 200	表示灯	200	検 査	ガス漏れ中継器	天井下～中心 300	検知器 (都市ガス)	天井下～下端 300	知	” (LPガス)	床上～上端 300		
	設計用標準水平地震度	● 特定の施設	● 一般の施設																																																																																																																																																																																																																																								
	設置場所	重要機器	一般機器																																																																																																																																																																																																																																								
	上層階	機器	1.5																																																																																																																																																																																																																																								
	屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0																																																																																																																																																																																																																																								
		水 槽 類	1.5																																																																																																																																																																																																																																								
	中間階	機器	1.0																																																																																																																																																																																																																																								
		防振支持の機器	1.5																																																																																																																																																																																																																																								
		水 槽 類	1.0																																																																																																																																																																																																																																								
	地下及び1階	機器	0.6																																																																																																																																																																																																																																								
	防振支持の機器	1.0																																																																																																																																																																																																																																									
	水 槽 類	0.6																																																																																																																																																																																																																																									
接地の種類	記号	接地抵抗値	接 地 極																																																																																																																																																																																																																																								
● 共同接地	EAED	10Ω以下	EB×3連—2組																																																																																																																																																																																																																																								
● 共同接地	EAECED	10Ω以下	EB×3連—2組																																																																																																																																																																																																																																								
● A種	EA	10Ω以下	EB×3連—2組																																																																																																																																																																																																																																								
● B種	EB	Ω以下	EB×2連—2組																																																																																																																																																																																																																																								
● C種	EC	10Ω以下	EB×3連—2組																																																																																																																																																																																																																																								
● D種	ED	100Ω以下	EB×1																																																																																																																																																																																																																																								
● 高圧避雷器	ELH	10Ω以下	EB×3連—2組																																																																																																																																																																																																																																								
● 交換機用	Et	Ω以下	EB×3連—1組																																																																																																																																																																																																																																								
● 通信用	EAt	10Ω以下	EB×3連—2組																																																																																																																																																																																																																																								
● 通信用	EDt及びEda	100Ω以下	EB×1																																																																																																																																																																																																																																								
● 電話引込口の保安器用	ELt	100Ω以下	EB×1																																																																																																																																																																																																																																								
● 測定用	EO	—	EB×1																																																																																																																																																																																																																																								
建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																																																																																																																																																																																																									
名 称	測 点	取付高 (mm)																																																																																																																																																																																																																																									
電力共通	取引用計器	地上～窓中心 1,800～2,000																																																																																																																																																																																																																																									
	引込開閉器	地上～中心 1,800～2,200																																																																																																																																																																																																																																									
電	分電盤・OA盤・実験盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																																																																																																																									
	スイッチ	1,300																																																																																																																																																																																																																																									
	” (多機能トイレ)	1,100																																																																																																																																																																																																																																									
	コンセント (一般)	300																																																																																																																																																																																																																																									
	” (和室)	150																																																																																																																																																																																																																																									
	” (台上)	150																																																																																																																																																																																																																																									
	” (土間)	800～1,300																																																																																																																																																																																																																																									
	” (車椅子用)	900																																																																																																																																																																																																																																									
灯	ブラケット (一般)	2,100～2,300																																																																																																																																																																																																																																									
	” (踊場)	2,000～2,500																																																																																																																																																																																																																																									
	” (鏡上)	150																																																																																																																																																																																																																																									
動	壁掛形制御盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																																																																																																																									
	手元開閉器	1,500																																																																																																																																																																																																																																									
	操作スイッチ	1,300																																																																																																																																																																																																																																									
構	端子盤	床上～下端 300																																																																																																																																																																																																																																									
換	保安器箱	天井下～上端 200																																																																																																																																																																																																																																									
	壁付アウトレット	床上～中心 300																																																																																																																																																																																																																																									
	” (和室)	150																																																																																																																																																																																																																																									
電	壁掛形親時計	床上～中心 1,500 (上限1,900以下)																																																																																																																																																																																																																																									
気	子時計	天井高×0.9																																																																																																																																																																																																																																									
時	壁掛形スピーカ	床上～中心 天井高×0.9																																																																																																																																																																																																																																									
計	壁付アッテネータ	1,300																																																																																																																																																																																																																																									
拡																																																																																																																																																																																																																																											
声																																																																																																																																																																																																																																											
名 称	測 点	取付高 (mm)																																																																																																																																																																																																																																									
表 示	表示盤	床上～中心 天井高×0.9																																																																																																																																																																																																																																									
	壁付発信器	1,300																																																																																																																																																																																																																																									
	ベル、ブザー、チャイム	2,300																																																																																																																																																																																																																																									
	受付押ボタン (一般)	1,300																																																																																																																																																																																																																																									
	電源箱	床上～下端 300																																																																																																																																																																																																																																									
誘 導 支 撐	外壁受付用インターホン(子機)	標準図による																																																																																																																																																																																																																																									
	壁付インターホン(上記以外)	床上～中心 1,300																																																																																																																																																																																																																																									
	壁付押ボタン(多機能トイレ)	900																																																																																																																																																																																																																																									
	壁付押ボタン(多機能トイレ) 床転倒時用	300																																																																																																																																																																																																																																									
テ レ ビ 共 同 受 信	機器収容箱	天井下～上端 200																																																																																																																																																																																																																																									
	テレビ端子	床上～中心 300																																																																																																																																																																																																																																									
	” (和室)	150																																																																																																																																																																																																																																									
火 災 報 知		1,500																																																																																																																																																																																																																																									
	受信機・副受信機	床上～操作部 800～1,500																																																																																																																																																																																																																																									
	機器収容箱	800～1,500																																																																																																																																																																																																																																									
	発信機	床上～中心 800～1,500																																																																																																																																																																																																																																									
ガ ス	ベル	天井下～上端 200																																																																																																																																																																																																																																									
	表示灯	200																																																																																																																																																																																																																																									
検 査	ガス漏れ中継器	天井下～中心 300																																																																																																																																																																																																																																									
	検知器 (都市ガス)	天井下～下端 300																																																																																																																																																																																																																																									
知	” (LPガス)	床上～上端 300																																																																																																																																																																																																																																									
令和5年4月改定版	<p>TITLE 埋蔵文化財センター展示室照明設備改修工事</p> <p>DRAWING NAME 電気設備工事特記仕様書(2)</p> <p>DATE 2026.03 SCALE S=1/NS DRAWING NO E-02</p> <p>山根設計 YAMANE</p> <p>二級建築士事務所 鳥取県知事登録(05)第2104号 二級建築士 池谷 美弥子 登録番号 第3166号</p> <p>鳥取県 令和7年度 J2501728 東部建築住宅事務所</p>																																																																																																																																																																																																																																										



【工事概要】
 安定器を取り外した蛍光灯器具に直管型LEDライトを取り付けた器具について器具内部を取替えることにより更新する。
 ・1階展示室 埋込型照明器具 ～14台（既設 ルーバー付）



配置図 S=1/400

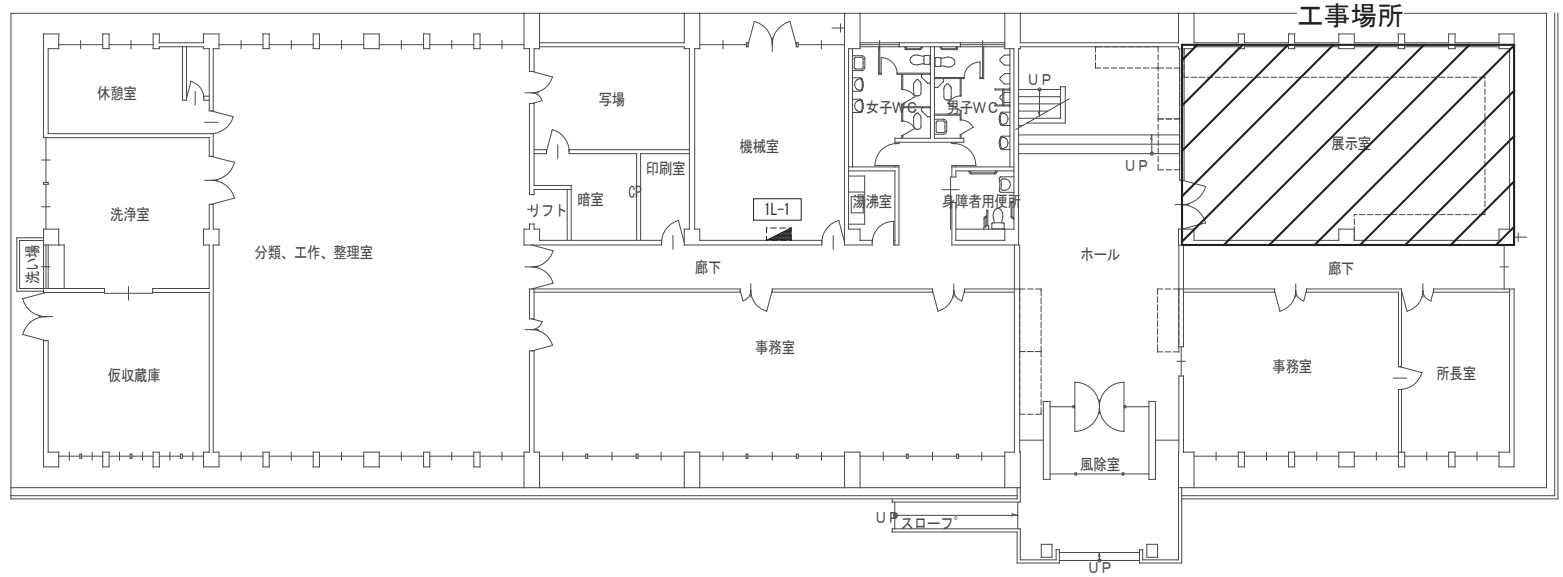
鳥取県
 令和7年度
 J2501728
 東部建築住宅
 事務所

TITLE	埋蔵文化財センター展示室照明設備改修工事				
DRAWING NAME	配置図、付近見取図				
DATE	2026.03	SCALE	S=1/400	DRAWING NO	E - 03

山根設計
YAMANE
 二級建築士事務所 鳥取県知事登録(05)第2104号
 二級建築士 池谷 美弥子 登録番号 第3166号

一 特記事項 一

1. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
2. 施工中の動線計画及び仮設計画については監督員と調整の上行うこと。
3. 改修内容は次のとおりとする。
 - ・ 特記無き既設照明器具を撤去後、全て新設LED照明器具に更新を行うこと。
(図面上で太線を本工事とし、細線は既設のままとする)
 - ・ 既設器具本体と新設器具を一体として取付支持すること。
 - ・ 既設吊りボルトのうち状態に問題ないものについては再利用してもよい。
再利用できないか、既設照明器具がスラブ等構造体に支持されていない場合は、
あと施工アンカーにてスラブ等構造体に支持すること。(3kg未満の器具は除く)
構造体からの支持が困難な場合は天井地下からの支持とし、落下防止措置を講ずること。
 - ・ 特記無き配管・配線・ボックス類は既設利用とする。
 - ・ 作業に伴う足場工事・養生・清掃片付け等は本工事とする。(養生は監督員と調整し行うこと)
 - ・ 施設を使用しながらの工事のため、施設運営に支障がないように日程等を
施設管理者及び監督員と調整の上、作業を行うこと。
 - ・ 施工前・施工後(全灯及び50%調光時)に照度測定を実施すること。測定箇所は監督員の指示による。
 - ・ 天井材の加工が必要な場合はアスベスト含有の有無を確認し、調査結果の揭示及び報告を行うこと。



電灯設備 本館 1階平面図 S=1/200

凡例

記号	名称	仕様	記号	名称	仕様
☐	照明器具	参考図参照	▽NA	人感センサー	親器
☒	照明器具	スポットライト (既設)	▽NB	人感センサー	子器
☉	照明器具	ダウンライト (既設)	□	ジョイントボックス	
●	非常照明器具	LED 埋込 (既設)	◻	天井点検口	450角
●	埋込スイッチ	1P15A×1	■	電灯分電盤	
●RA	センサー用自動スイッチ	自動切手動			
⚡	調光スイッチ	電源スイッチ付 参考:N021506			

図中、特記なき配管及び配線は下記による。

—	VVF1.6-2C	(天井内隠線)
V3	VVF1.6-3C	(天井内隠線)
V4	VVF1.6-2C×2	(天井内隠線)
ZV4	VVF2.0-2C×2	(天井内隠線)
2.0	IV2.0×2(E19)	(天井内隠線)
2.0	IV2.0×3(E19)	(天井内隠線)
FCP	FCPEE0.9-1P	(天井内隠線)

【照明器具 参考図】

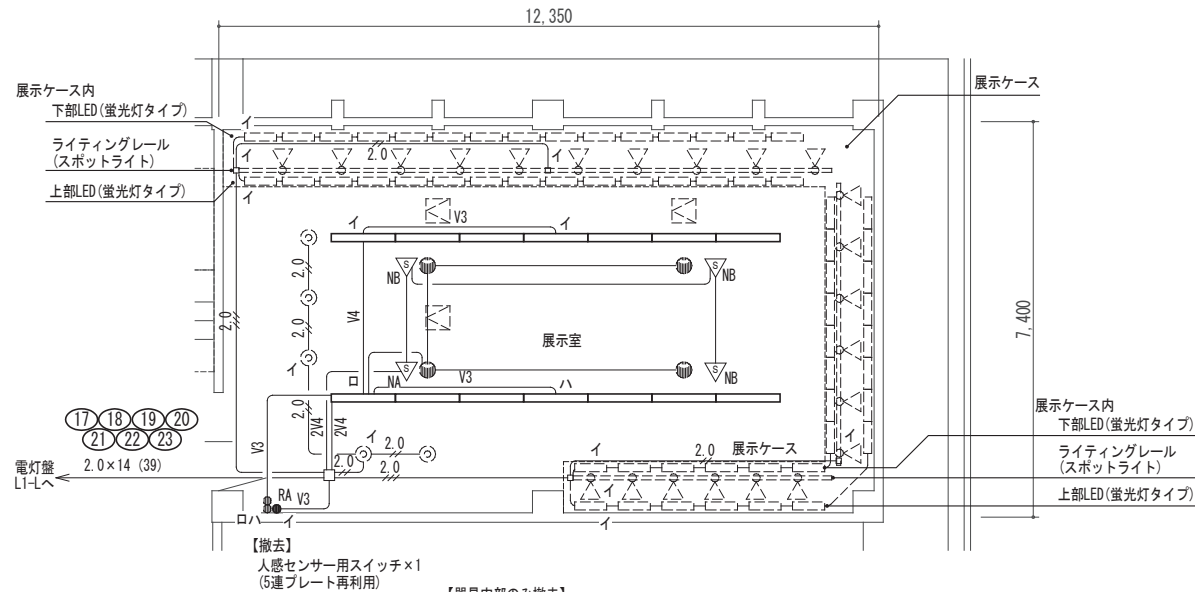
N460T 直付型40形 グレアセーブ

(既設器具内へ取付)



マルチコンフォートタイプ、一般タイプ、6900lmタイプ
消費電力43.1W、定格出力型、電圧100~242V
約5~100%連続調光型
本体：鋼板(白色粉体塗装)
ライトバー(カバー)：ポリカーボネート(乳白)
光束維持時間40000時間(光束維持率85%)
昼白色(5000K)、Ra83
参考品番 パナソニック 直付XF460NKMLR9

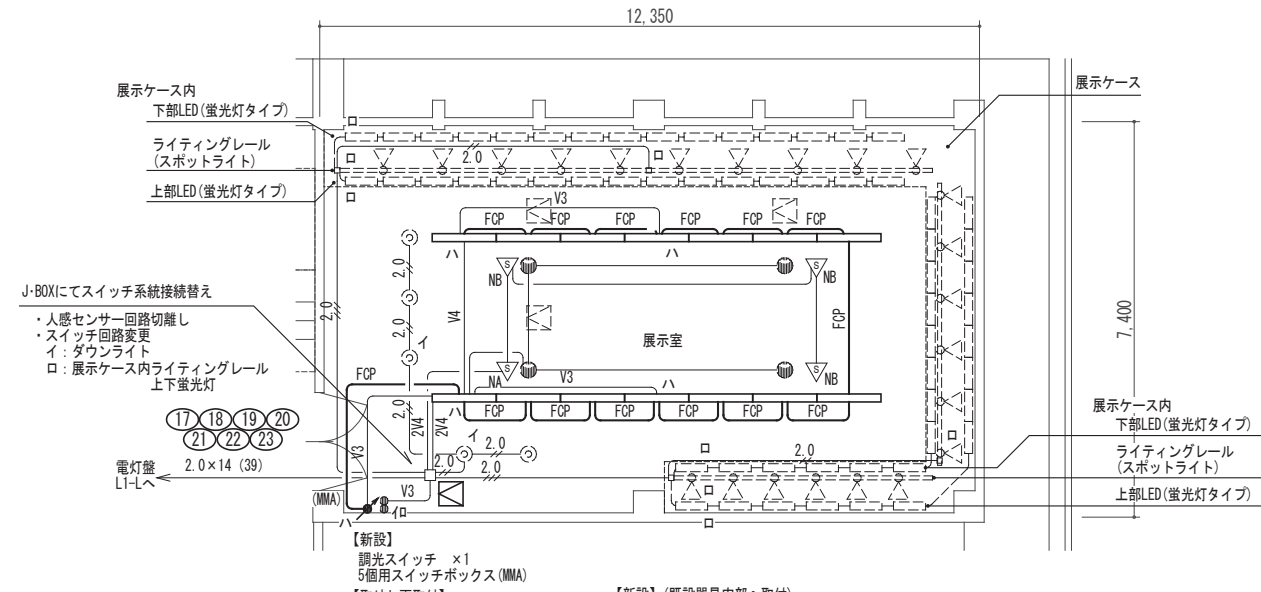
改修前



電灯設備 本館 1階(展示室)撤去図 S=1/100

※既設配線経路は想定、施工の際は事前調査すること。

改修後



電灯設備 本館 1階(展示室)改修図 S=1/100

※既設配線経路は想定、施工の際は事前調査すること。

TITLE	埋蔵文化財センター展示室照明設備改修工事				
DRAWING NAME	電灯設備 本館 1階改修図				
DATE	2026.03	SCALE	S=1/100, 1/200	DRAWING NO	E-04

山根設計
YAMANE
二級建築士事務所 鳥取県知事登録(05)第2104号
二級建築士 池谷 美弥子 登録番号 第3166号

鳥取県
令和7年度
J2501728
東部建築住宅
事務所